

# 南葵音楽文庫

## 紀要



第9号



## 目次 CONTENTS

### ■論文・調査報告

- ・徳川頼貞による文化貢献の特性(5)  
—戦中・戦後の活動— ..... 6  
美山良夫

### ■資料紹介

- ・遠藤宏編『東洋および原始音楽に関する図書・論文リスト』..... 16  
篠田大基

### ■関連歴史資料

- ・【翻刻】第八回大會席上に於る總裁の演説(徳川頼倫講演録) ..... 20

### ■収蔵資料 目録と紹介

- ・南葵音楽文庫収蔵「カミングス文庫」の研究  
—カミングス文庫「手写資料」および「一般書」目録— ..... 32
- ・南葵音楽文庫 活動の記録 2024 (令和6)年度 ..... 60





# 論文・調査報告

## 徳川頼貞による文化貢献の特性 (5)

—戦中・戦後の活動—

美山良夫

徳川頼貞による文化貢献について、本紀要に掲載した拙稿においては、主に自身が深く関与した音楽振興、および徳川家の文化学術遺産の承継に関する面を、「私性」と「公共性」の輻輳を切り口として検討を始めた。

公共財化にみる選択と集中を副題とした前回の小論では、南葵音楽図書館が所蔵した資料群を中心に、徳川治宝蒐集の雅楽器を含め、個別にその公共財化の過程を紹介してきた。

然しながら、徳川頼貞の文化貢献について、その全体像や特性を明らかにするには、大きな部分が未検討のまま残されている。今回はその欠落を補うのが主たる目的である。それに先立ち彼の著書『薈庭楽話』について、この視点から一瞥しておきたい。頼貞を識るための主たる文献ではあるが、その性格を再確認しておく必要があると思われるためである。

徳川頼貞の音楽面の半生記である『薈庭楽話』は、限定50部の私家版として1941年11月に印刷された。この私家版においても、また多くの改変をおこなったうえで、開戦後の追記を付し1943年に公刊された市販版においても、本文の記述は第15章のリヒャルト・シュトラウス《アルプス交響曲》日本初演(1935年10月30日)への演奏用楽譜提供とそれにまつわる演奏権の逸話で閉じられている。

その前の章は南米への旅であるが、音楽に関する記述は乏しく、独自の音楽体験の披瀝では第13章に記された第3回のヨーロッパ歴訪(1929～30年)が最後となる。ここから《アルプス交響曲》初演までに生じた南葵音楽図書館の閉館や、慶應義塾図書館への音楽資料寄託への言及はない。

本稿が目指す頼貞による文化貢献の特性考察に資するため、『薈庭楽話』が伝える内容以降の頼貞のこの面での足跡を各種史料をもとに再構成する必要がある。音楽面に限れば、それは豊富とは言えない。頼貞および徳川家の内部環境、世界的な音楽家を招聘しての活動を受け入れる外部環境は、年ごとに困難になっていった。

しかし、15年戦争の期間、すなわち1931年の満州事変から太平洋戦争の終戦(1945年)までと、戦後参議院議員としての活動が彼の逝去により終える期間について、彼の活動を跡づけることなしには、彼の文化貢献の全体像検討は不可能である。そのため、その足跡を確認



徳川頼貞  
『頼貞随想』(1956年)  
口絵写真より

することから始めたい。

『薈庭楽話』以後の彼の活動は、逝去後に徳川頼貞遺稿集刊行会がとりまとめた『頼貞随想』<sup>(1)</sup>によってある程度伺いしることができる。戦中戦後の徳川頼貞を親しく知る刊行会世話人幹事の連名で編集後記が掲載され、その中に以下の文章が含まれている。

「先生は元来、座談に長じていたが、文筆は巧みでなかった。しかもその晩年、内、経済上の苦難と、外、政務の多忙との間かく多量の随筆を書かれた努力は吾人の意外とし敬服するところでありました。

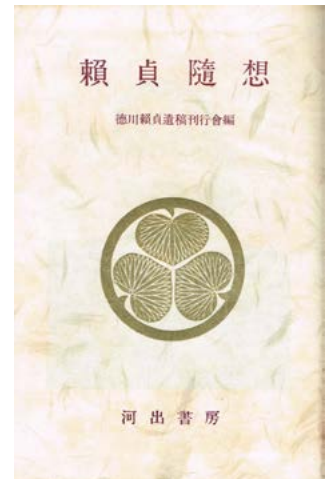
先生の晩年は、大戦末期の戦災、敗戦後の大変革に遭い、境遇の激変と生活の困難など幾多多難の連続でありましたが、よくこれに耐えて常に明朗闊達、よく長者の風格を存し、祖国再建のために蹶然として参議院議員に立候補すること二度、常に最高点当選の光栄を獲得されたのであります。そして、政界にあっては国際情勢に通暁する達眼の士として認められ、くわうるに自然に備わる気品と円満なる風格とは、党派を超えて各方面より愛敬せられており、先生も亦将来大に為すあらんときしておられました。再選後わずか一年に満たずして薨れられましたことは、真に痛惜に堪えないものがあります。」<sup>(2)</sup>

この『頼貞随想』は、ユネスコ総会出席にともなう旧友との交友（1951年）、和歌山城など紀州の徳川家の歴史に関する言及などを含む。具体的には、「戦影を追って（一九四一年四月～十一月）」及び「第四次外遊（一九五一年五月～九月）」が、章として戦中戦後の内容を扱っている。

しかし、編集後記にある参議院議員としての政務について、随想集という性格から、頼貞はまったく言及してはいない。

内容面では、第一次外遊（留学）から第三次外遊、南葵楽堂、南の旅など『薈庭楽話』と重なる部分も少なくない。同時に、削除ないし含まれていない章や部分、追加されている話題がある。たとえば、「第三次外遊（一九二九年五月～一九三一年二月）」の章には、1930年11月からの南米訪問について記した部分が省かれている。ただし『頼貞随想』が逝去後に遺稿を編集したものであり、著者の意向通りに内容が整えられていたかものとして遺されていたかは、今では確認できない。

他方、『薈庭楽話』（私家版）では見られなかった部分の追加は、著者の意図を反映したものである。その例として、1929年冬に滞在した南仏でのポアンカレー、チェ



『頼貞随想』徳川頼貞遺稿刊行会編  
河出書房 1956年

(1) 徳川頼貞『頼貞随想』1956年、河出書房。（非売品）

(2) 世話人幹事は、林 桂、林一夫、富本岩雄、辻邦助の4名。

## 徳川頼貞の文化貢献 (1933～1954) 略年表

1933 (昭和8) 年	1月	南葵音楽事業部理事会を開催 (代々木上原、徳川邸)。慶應義塾との寄託契約書、および音楽図書館閉館 (1932年11月) にもなう残務を検討。未整理資料は約1000点。3月に寄託、慶應義塾図書館新書庫屋根裏に収蔵。約25000冊。
	3月	(南葵産業設立、社長に山東誠三郎)
	10月	フランスの元文部大臣アンドレ・オノラ (1868～1950) 夫妻来日、歓迎晩餐会、音楽会を主催。音楽会では宮城道雄が演奏。
	11月	日本教育音楽協会主催「音楽展覧会」(白木屋百貨店) に南葵音楽図書館及び徳川頼貞が出品。清和園第二回贓品展覧 (売立) 開催。目録の編集執筆は高木文。 この年「和歌山図書館後援会」設立。目的は建設のための募金活動。総裁に就任。
1934 (昭和9) 年	2月	清和園贓品展覧 (売立) 開催。目録の編集執筆は高木文。
	4月	国際文化振興会設立 副会長に就任。 この年、南葵文庫旧館を大磯に移築。翌年にかけて音楽回想録執筆を構想。喜多村進と相談。
1935 (昭和10) 年	8月	フィリピンのコモンウェルス憲法成立 (2月)、米国ルーズベルト大統領の承認 (3月) をふまえ、独立準備政府樹立 (11月) をまえに、財団法人フィリピン協会 (日比協会) 設立。目的は日比親交および文化交流発展。初代会長に就任。
	10月	東京音楽学校によるリヒャルト・シュトラウス《アルプス交響曲》日本初演。演奏用楽譜を貸し出す。後にプラーゲより演奏権について問い合わせがあり、演奏権つき楽譜を所持と返答。
1936 (昭和11) 年	2月	(二・二六事件おこる)
	10月	(南葵産業子会社に経営問題発覚、12月に山東誠三郎を罷免)
1937 (昭和12) 年	1月	(南葵産業の負債償却のため全財産処分へ、代々木本邸は分譲地に)
	11月	和歌浦の双青寮が紀陽銀行所有に。承継していた徳義社資料は長保寺に移り、藩庁資料は紀州東照宮 (後に和歌山県立図書館、和歌山県立文書館) へ。
1938 (昭和13) 年	2月	(自宅処分、エジプト大使館に)
	6月	和歌山県立図書館 (2代目)、和歌山城内に建て替え完成し開館。 この年、田辺尚雄が徳川家の雅楽楽器を調査。
1939 (昭和14) 年	4月	(人事調停法施行、調停委員に就任)
1940 (昭和15) 年	2月	日智協会設立、会長に推挙される。チリの智日文化協会と交流。
	7月	日伊協会発足、会長に前田利為、頼貞は顧問に選任。
	11月	ブラジル政府より勲章授与。両国親善に寄与してきたため。 この年、泰山荘を中島知久平 (中島飛行機社長) に売却。南葵文庫旧蔵の駿河版銅活字 (1962年に重要文化財指定) は凸版印刷に。
1941 (昭和16) 年	9月	日智協会会長として、チリ国独立記念祭に際しチリ国向けに慶祝放送。
	11月	自著『蒼庭楽話』(私家版、限定50部) 印刷、配布。 日本音楽文化協会発会式。顧問の一人に就任。

- 1941 (昭和16) 年 12月 (真珠湾攻撃、アジア太平洋戦争始まる。翌年1月マニラ占領)
- 1942 (昭和17) 年 3月 フィリピンに派遣軍の顧問としてマニラに在住、12月に帰国。  
この間、ラス・ピニャスにある竹製オルガン修復を提言、自身の俸給を全額寄付。
- 9月 マニラの教会でおこなわれた高山右近を記念するミサに臨席。
- 11月 藤原歌劇団がワーグナー《ローエングリン》上演。南葵音楽図書館所蔵楽譜を寄託先の慶應義塾図書館から借り出して使用。
- 1943 (昭和18) 年 3月 自著『薔庭楽話』出版 (春陽堂書店、1500部)  
この年、大磯高麗園の譲渡、売却すすむ。
- 1944 (昭和19) 年 1月 『音楽文化』1月号座談会「大東亜音楽政策の方向」に参加。
- 1945 (昭和20) 年 4月 慶應義塾図書館への寄託解約を通知。6月に搬出。  
8月 (「終戦の詔書」放送。9月降伏文書調印)
- 1946 (昭和21) 年 1月 官公職追放に該当する貴族院議員95名の一人に。
- 1947 (昭和22) 年 4月 第一回参議院議員選挙、和歌山県選挙区で当選。当選後から、参議院文化委員会委員として、祝祭日の改正に関して「文化の日(11月3日)等の制定、外交委員会委員長として在外公館について審議取りまとめと本会議での報告、皇室経済法に関する特別委員会理事として提言、図書館運営委員会理事として国会図書館の整備にかかわり、外務委員会理事も務めるなど活動。
- 1948 (昭和23) 年 この年、音楽資料の売却、盗難、所有権、旧蔵レコードの行方等の報道。
- 1949 (昭和24) 年 2月 民主自由党の文化部長に就任。  
11月 ユネスコ議員連盟を組織、衆参約300名の議員が集う。会長に就任。
- 1951 (昭和26) 年 6月 第6回ユネスコ総会(6/18~7/11)パリでパッシーの元駐日大使ド・ピュイの邸宅滞在、コルトーらと旧交をあたため、後に英国、イタリアを経て8月末帰国。
- 1952 (昭和27) 年 2月 ベルギー大使館においてエリザベト音楽学校後援会の発会式。理事長エルネスト・ゴーセンス、理事に徳川頼貞、原智恵子らを選任。  
7月 参議院本会議開催。ユネスコ国内委員会委員に徳川頼貞他2名を承認。
- 1953 (昭和28) 年 4月 第三回参議院議員選挙、和歌山県選挙区で当選。  
6月 議院本会議開催。ユネスコ国内委員会委員に徳川頼貞(再任)他を承認。  
7月 サンパギタの会会長として第8回フィリピン独立記念日祝賀会を主催。  
9月 フィリピン戦犯釈放「国民感謝大会」開催。副委員長を務める。  
11月 所蔵雅楽器157点を田部長右衛門へ譲渡。
- 1954 (昭和29) 年 4月 東京杉並の自宅で死去(4/17)。享年62。勲二等瑞宝章授与。



徳川夢声と徳川頼貞の対談(冒頭部分)  
『週刊朝日』1953年3月15日号より。  
夢声の前白、横山泰三の挿画は『頼貞  
随想』に再録されていない。



『紀州徳川家蔵品展覧目録』表紙  
1927年

ンバレン両氏との会話をあげておこう<sup>(3)</sup>。

こうした追記や変更は、およそ20年の戦中戦後の時代を経ての歴史観、価値観の変化を反映していると思料できよう。この点をふまえつつ、略年表に示した足跡から文化貢献に関わる事項、行動を析出し、集約してみたい。

## 1 公共財化に見る手続きと意味

本項については、前回の拙稿において、公共財化への道筋が戦後に及んだ徳川治宝蒐集の雅楽器コレクション(現：国立歴史民俗博物館所蔵紀州徳川家伝来楽器コレクション)を含め詳述した<sup>(4)</sup>。ここでは、公共財化の意味するところについて付言しておきたい。

徳川頼貞は、1953年2月に徳川夢声の依頼で彼との対談をおこない、同年3月15日発行の『週間朝日』掲載された。この対談を『頼貞随想』に転載するにあたり、徳川夢声は跋文を寄せ、雅楽器の譲渡先について頼貞が腐心していた様子を書き残している<sup>(5)</sup>。それより17年前に、頼貞はこれらの楽器について、東洋音楽学者の田辺尚雄に依頼して調査(鑑定)をおこなっている。所蔵品が誰の手に渡ろうとも、どこの施設が所蔵することになろうとも、蒐集品の全体像や個々について、叶う限り正確な、学術的な歴史的価値や評価情報とともに承継されるために、必要な手続きと考えたのであろう。

紀州徳川家の財務状況改善のため、1927年を始めとして3回の売り立てを行っている。各回とも目録が作成された。

紀州徳川家蔵品展覧目録	1927年4月4日
静和園蔵品展覧目録	1933年11月24日
静和園第二回蔵品展覧目録	1934年2月20日

第一回の目録は、南葵文庫の主事であった高木文が編集にあたり、この種の目録として前例がない菊倍版の大型書として刊行された。彼によって出品物について詳細な伝来と解説が付されている。その序文にあたる口上文には「展覧に際し猶名品の記録を詳記し此の後愛玩さるる諸士に報したき」と記されている。

売立目録は、商品リストという性格をこえて、美術書であり美術研究書としての性格をもった初期の例であるとともに、このような伝来や特徴を記載する目録として、それ自体が歴史的価値をもっている。これは、南葵文庫、南葵音楽図書館にもたらされた海外の音楽古書肆

(3) 徳川頼貞『頼貞随想』1956年、河出書房、p.188-193

(4) 美山良夫「徳川頼貞による文化貢献の特性(3)」『南紀音楽文庫紀要』第7号(2024) p.6-14

(5) 徳川頼貞『頼貞随想』p.253

の目録、オークション・カタログの刺激や影響が、また古典籍に通じ、南葵音楽図書館の庄司浅水によるなんらかの意見も想定できなくはない。

第2回の売立のために準備された『静和園蔵品展覧目録』はさらに大型となり菊四倍版である。編集は引き続き高木文が担当、主要出品物には、歴史、来歴の記録とともに、充実した解説を執筆している。

第3回の売立目録は、一転して菊判の洋装本で、編集は同じく高木文。主要出品物には、来歴や解説文がある。

こうした専門性のある周到な準備は、どのように決定されたのであろうか。この点については、現時点で明らかになっていない。徳川頼貞自身の関与についても、不明のままである。しかし、こうした方針と手続きは、楽器コレクションの譲渡においても共通するものであり、さらに、すべてではないが、個別に譲渡ないし売却する際にも、同様の方向性をたどることが可能である。

もちろん多くの例外が指摘されはするであろうが、これまでの検討をふまえ俯瞰すると以下の特徴が見出されよう。

徳川家旧蔵品について、所蔵主の移動に際しては、それが寄贈、相対の譲渡、売立の如何にかかわらず、そこに公共財化のモーメントがはたらく。これは、(1)それを所蔵するに適した公共的機関(公立、私立を問わず)への寄贈、寄託、譲渡等により公共財(public goods)とする。(2)人々が利用可能(publicly accessible)にするという、二つの方向で行われていた。

## 2 国際親善と文化交流

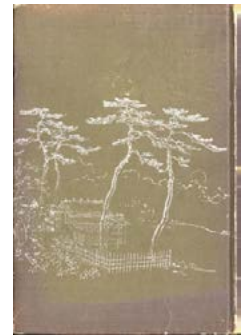
『薈庭楽話』以後の文化貢献活動に特徴的なのは、略年表にもあるように、日本と外国との間に締結された多数の協会、親善団体に関係し、多くで会長などの要職にあった点であろう。設立年等が不明のため、以下に掲載していない例もある。

- ◎比律賓協会(1935年設立。頼貞は初代と第3代会長)
- ◎日本ギリシャ協会(会長就任期間等は不詳)
- ◎日伯中央協会(現：日本ブラジル中央協会。1932年設立。頼貞は第3代会長1937～43年)
- ◎日白義協会(1919～39年頃活動。会長は鍋島直大)
- ◎暹羅協会(現：日本タイ協会。1927年設立。会長は近衛文麿)
- ◎日智協会(現：日本チリ協会。1940年設立。初代会長)
- ◎日伊協会(会長は前田利為。頼貞は顧問)

このほかにも関係したとされる協会等が挙げられている。だが今回の調査では具体的な資料によって確認することが叶わなかった。



『静和園蔵品展覧目録』表紙  
1933年

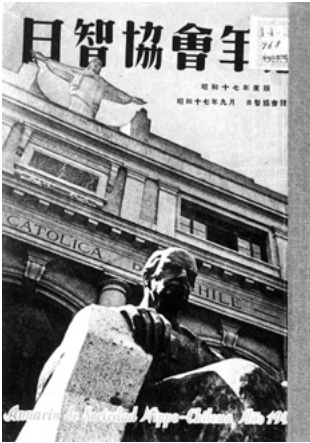


『静和園第二回蔵品展覧目録』表紙  
1934年



『比律賓情報』第77号  
比律賓協会 1933年  
(国立国会図書館所蔵)

徳川頼貞は会長としての挨拶文だけでなくフィリピン文化に関する寄稿、連載「戦影をおうて」執筆などの関与をしている。



『日智協會年鑑』  
日智協會 1942年  
(国立国会図書館所蔵)

これらの協会の具体的な活動は、官民による交流の支援や活性化である。だが活動資金、事務局、活動計画が盤石ではない場合もあり、戦中に活動を停止した例もある。また詳細な活動記録が残されていない例が多く、頼貞の活動を具体的に例証するのは困難である。

その中で比律賓協会、日智協会は年鑑を発行、頼貞が寄稿、相手国向けのラジオ放送、人物の交流や接遇で活動した事実を伝えている。

多数の友好親善・文化交流団体において、会長を始めとして要職に迎えられた事実は、徳川頼貞がこの面で確たる信頼と評価を得ていたことを物語る。その一方、頼貞自身がこの面での活動を自ら具体例をもって語る例は、フィリピンを除いて残っておらず、頼貞のイニシアティブは明らかではない。

ブラジルとチリが含まれているのは、頼貞の「第三次外遊」で南米を巡察し交流を深めた点が、またチリに関しては和歌山出身で在チリ国公使であった三宅哲一郎(1888～1979)の推挙が、あったためと考えられる<sup>(6)</sup>。

また、この種の団体が多く設立されたのは、1933年3月に日本が国際連盟を脱退し、国際的な孤立の道を進んだ時期にあたる<sup>(7)</sup>。この関連については、本稿の域を越えるものであるが、以下に概観する国際文化振興会の設立と目的、また同会の目論見の中で徳川頼貞に求められていた点と深く関わることになる。

### 3 国際文化振興会

国際文化振興会は、1934年に日本文化の海外への紹介を主たる目的として設立された。その設立が、政治的なプロセスとなったのは1933年1月で、外務省の対外文化事業として構想された。しかし、予算が乏しく、計画を変更して民間有志を活用した団体とすることになった。その運営は、国際連盟の活動に従事していたスタッフが、連盟脱退後に担うことになる。

同年1月に設置された準備機関「文化委員会」に、委員として徳川頼貞らが選任された。長く国際文化振興会に理事等として参加し活動した團伊能(1892～1973)は、戦後20年近くを経てから振興会設立時の内実を書き残している。「(予算が僅かであったので)山田先生と考え出した計画は日本から外国に留学したり、滞在して多く

(6) 三宅哲一郎は公使時代にチリ政府からモアイ像で知られるイースター島の購入を打診された(この話は、当時緊迫していた米国との関係への影響などを考慮し、最終的に立ち消え(棚上げ)となった)。退任後、徳川頼貞を推薦して協会を設立、自らは運営に奔走した。

(7) 徳川頼貞の旧蔵書の中には、『リットン報告書』(朝日新聞社、1932年)が含まれていた。

の知己を持つ人に頼んで、その友人への私信として、日本文化に対する世界の誤解を解いてもらうことにした。(中略) 細川侯爵の美術同好会や、徳川頼貞後侯爵の友人である世界音楽家に(中略)その署名をもって手紙を送り、その印刷代紙代に予算を使ったというのである<sup>(8)</sup>。

ここでも徳川頼貞のもつ国際的な、だが個人としての交友関係への期待が認められる。しかし、外務省が事業費を予算化し、事務費は民間の拠出によるというスキームの団体に、頼貞個人はどのように対応したのであろうか。前述のように頼貞は後年この団体について書き残していないため、その本意は明確ではない。そのため、記録類から頼貞の関与を抄出してみよう。

国際文化振興会は、設立時から総裁に高松宮を迎え、会長は近衛文麿がつとめた。むろん兩名とも名誉職であり、日常業務にはかかわらない。副会長は2名で、徳川頼貞と郷誠之介であった。だが郷は5年目から常務理事であった岡部長景に代わっている。運営の実際は常務理事3ないし4名が統括し、そこに頼貞の親友である黒田清が團伊能らとともに加わっていた。

人事面では、名誉職をのぞけば最上位となる副会長の位置に終戦まで就いていた徳川頼貞だが、活動面ではどのような立場であったろうか。国際連盟脱退の重なる時期に準備がすすみ、脱退翌年に呱呱の声を上げた振興会は、日中戦争、太平洋戦争を通じて次第にその目的や事業内容が変化、翼賛体制に組み込まれる道を進む。文化事業は文化工作等と呼称も変わる。その過程の仔細な検証は、芝崎厚士の著作を参照いただきたい<sup>(9)</sup>。

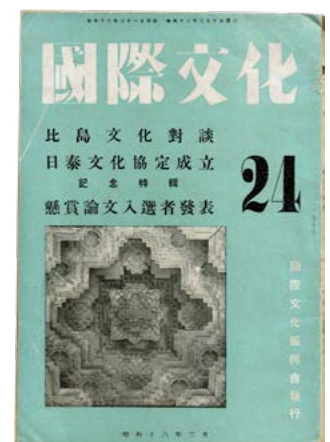
対外文化工作に関しては、1937年から翌年にかけて、対象国や地域ごとに協議会が設置され、会議が催された。第1回のイギリスを始めとしてイタリア、アメリカ、ドイツ、中国、東洋諸国、中南米諸国、欧州諸国、フランスなどを対象に10回にわたりて開催され、司会は團伊能らが務めた。各回10名程度から20名ほどの参加者が集められたが、その中に徳川頼貞の名前は見当たらない<sup>(10)</sup>。彼の名前は、振興会の活動記録には、海外要人や団体の歓迎行事参加者として、また副会長の立場での挨拶などの接遇には散見できる。だがひとつの記事として掲載されているのは、機関紙『国際文化』に掲載された黒田清とのフィリピン文化に関する対談が見いだせる程度である<sup>(11)</sup>。



黒田清 (1893-1951)  
国際文化振興会常務 (のち専務)  
理事、貴族院伯爵議員



團伊能 (1892-1973)  
国際文化振興会常務理事、  
戦後は参議院議員



『国際文化』第24号  
国際文化振興会 1943年

(8) 團伊能「設立と戦前の国際文化振興会」『国際文化』第118号 1964年 p.20-23

(9) 芝崎厚士『近代日本と国際文化交流——国際文化振興会の創設と展開——』有信堂 1999年

(10) 前掲書 p.134

(11) 「比島文化について」『国際文化』24号、1943年

戦後、国際文化振興会は「大東亜共栄圏」に資する活動の機関として翼賛体制に組み込まれてきたあり方を一変、反省と新たな存在意義をもとめる必要に迫られた。その模索のため、理事がホストになって「KBS友の会」と称する会議が1946年5月から翌年3月にかけて7回の会議が開催された。有識者を多く招聘した会議は、なんらかの結論を導くものではなく終始したという<sup>(12)</sup>。このうち5回に徳川頼貞は出席している。国際文化振興会に設立以来かかわりながら、組織内では自らが主導する活動はみられないものの、文化交流への感心と意欲は持続され、戦後の参議院議員としての活動につながってゆく。(この項続く)

---

(12) 芝崎厚士 前掲書 p.196



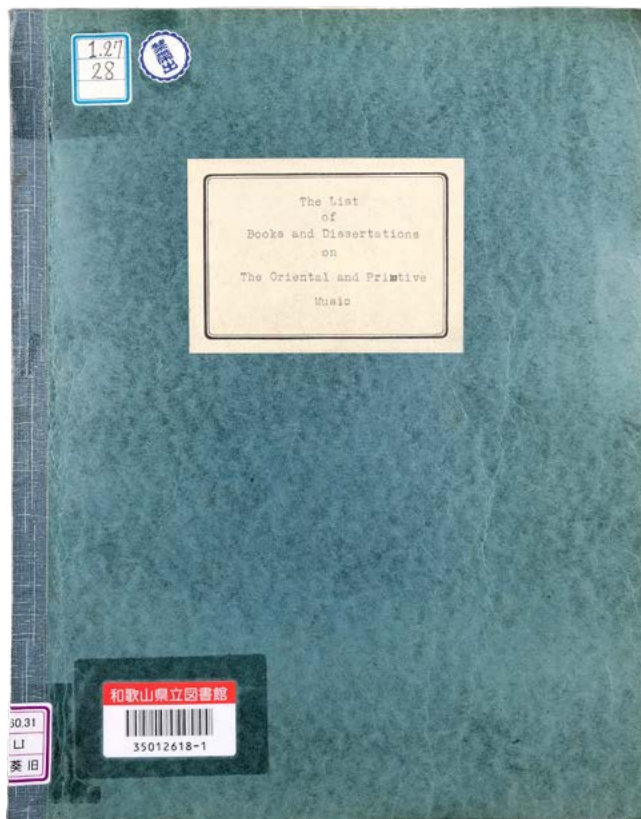
## 資料紹介

## 遠藤宏編『東洋および原始音楽に関する図書・論文リスト』

Endo, Hiroshi, ed. *The List of Books and Dissertations on the Oriental and Primitive Music*.  
Typed manuscript, [1927?]. 17p. 28cm.

収蔵番号：1.27/28 和歌山県立図書館請求記号：ナ/760.31/LI/

本資料は、1929年に南葵音楽図書館が出版した遠藤宏編 *Bibliography of Oriental and Primitive Music* (発売：岩波書店。以下 *Bibliography* とする) の準備稿である。出版本 *Bibliography* は、欧文で書かれた東洋音楽や非西洋の音楽に関する文献を集めた書誌で、文献は編著者のアルファベット順に番号が付けられ、654点が採録されている。これに対し、準備稿の本資料 *The List of Books and Dissertations on the Oriental and Primitive Music* (以下 *List* とする) の採録点数は219点で、そのうち5点は二重採録されているので、実質的には214点ということになる。そのほぼすべてが *Bibliography* に採録されているが、*List* にあって *Bibliography* にない文献も4点見られる<sup>(1)</sup>。*List* では採録文献に番号付けはなされておらず、*Bibliography* のような国名・地域名の索引もない。



表紙

### 排列

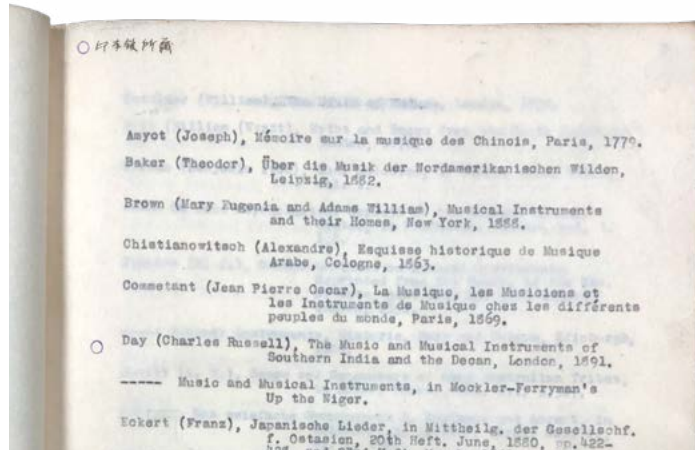
*List* での採録文献の排列は、4ページ目の途中までは *Bibliography* と同様、編著者のアルファベット順であるが、その後は不規則な排列と編著者のアルファベット順とが断続している。調査のなかで文献を逐次追加しながら、*List* は作られていったのであろう。

(1) 以下の4点。

- ・ Johann Rudolph *Naturgeschichte der Saeugethiere von Paraguay* (Basel, 1830). (*List*, p. 3).
- ・ Heinrich Zöllner, Einiges über sudanesische Musik, *Musikalisches Wochenblatt*, vol. 16, no. 37 (1885), p. 446. (*List*, p. 4).
- ・ Hendrik Zwaardemaker, "Der Verlust an hohen Tönen mit zunehmendem Alter", *Archiv für Ohrenheilk*, vol. 32 (1891), p. 53-56. (*List*, p. 4).
- ・ George Soulié de Morant, *Théâtre et Musique Modernes en Chine: Avec une étude technique de la musique chinoise et transcription pour piano par André Gailhard* (Paris: Paul Geuthner, 1926). (*List*, p. 11).

(2) 以下の2点。

- ・ Ernest Clements, *Introduction to the Study of Indian Music* (London: Longmans, Green, and Co., 1913). (*List*, p. 7).
- ・ Maurice Courant, *Chine et Corée: Essai Historique sur la Musique Classique des Chinois avec un Appendice Relatif à la Musique Coréenne* (Paris: Librairie Delagrave, 1931). (*List*, p. 11).



◀「○印本館所蔵」の記載

## ○印

Listの1ページ目には「○印本館所蔵」という書き入れがあり、24点の文献（うち1点は二重採録）に○印が付いている。この印は、Bibliographyにおいて126点の文献に付けられた\*印と2点を除いて一致しており、Bibliographyに\*印の意味は記載されていないが、南葵音楽図書館の所蔵を示していたことが分かる。

## 採録文献の年代範囲

ListもBibliographyも、採録文献のほとんどは1890年代から1920年代に出版された文献である。Listのなかで最古の文献は、1779年出版のJoseph-Marie Amiot, *Mémoire sur la musique des Chinois, tant anciens que modernes* (Paris)で、Bibliographyには16番という文献番号で採録された(Bibliographyでは出版年が1780年に直されたが、1779年が正しい)。これに加えてBibliographyでは、同じ1779年出版のAugust Friedrich Pfeiffer, *Über die Musik der alten Hebräer* (Erlangen)も採録されている。

他方、Listのなかで最新の文献は1927年出版のWalter Kaudern, *Ethnographical Studies in Celebes: Results of the Author's Expedition to Celebes, 1917-1920*, vol. 3 "Musical Instruments in Celebes" (Göteborg)で、Bibliography

には281番に見られる。この文献の出版年から、Listの作成も1927年ないし28年であったと推測できる。Bibliographyではさらに新しい文献も加えられ、出版されたのと同じ1929年の文献も3点見られる(243、330、645番)。

## カード目録

現在、和歌山県立図書館には、かつて南葵音楽図書館で使われていた目録カードを収納した3段重ねのカードボックスが1台寄託されている<sup>(3)</sup>。音楽書、楽譜それぞれの著者・作曲者目録や分類目録など、種々の目録カードがまとめられているなかに、“BIBLIOGRAPHY OF ORIENTAL & PRIMITIVE MUSIC”と記された抽斗がひとつある。Bibliographyの編纂にあたりListに採録された文献の情報は、カードにタイプライターで転記され、編著者名順に並べ替えられて1本の抽斗に収められた。Bibliographyで\*印を付けられた(すなわち南葵音楽図書館が所蔵する)文献には水色のカードが、それ以外の文献には白のカードが使われ、カードの左上には鉛筆で通し番号がふられている。この番号はBibliographyの文献番号に対応している。最後のカードは635番のKurt Freiherr von Zedtwitz, "Japanische Musikstücke", *Mittheilungen der Deutschen Gesellschaft für Natur- und*

(3) 南葵音楽図書館のカード目録に関しては、林淑姫「ミュージック・ライブラリーの夢——南葵音楽図書館の成立と展開 (2)」『南葵音楽文庫紀要』2号 (2019) p. 21-22 参照。



▲Bibliographyカード目録

*Völkerkunde Ostasiens in Tokio*, vol. 4, no. 32-33 (1885) で、*Bibliography*ではこの635番の後に仕切り線が引かれ、636～645番の文献が追補されている。636～645番の文献のカードは作られなかったのか現存しない。

## 時代背景

*List/Bibliography*が編纂された1920年代後半(昭和初頭)は、南葵音楽図書館が非西洋、とくにアジアの音楽への関心を高めた時代であったと言える。1926年には徳川頼貞らが南洋(フィリピン、ジャワ、タイ、インドシナ半島)を旅し、頼貞は後に「自分は倫敦、巴里、紐育と、謂わば世界の大都会を旅行して色々と見学はしたが、日本に近い国々を少しも見ていないことに気が附いた。外国ばかりを見て自分の近くの国々をしらないことは灯台下暗しである」と記した<sup>(4)</sup>。また、*Bibliography*出版の翌年には、遠藤と同じく南葵音楽事業部評議員であった兼常清佐、辻荘一の二氏

による雅楽の調査研究の成果として『日本音楽集成』第1編『雅楽』第1輯「催馬楽」も上梓された<sup>(5)</sup>。これらの活動の重要な点は、南葵音楽図書館が関心の対象を西洋音楽から非西洋の音楽へと広げたこととともに、研究成果を欧文で海外に向けて発信しようとするものであったことも見落としてはならない。*List/Bibliography*は全文が英文で編集され、それは遠藤によれば「海外研究者の便をはかつた」ためであった<sup>(6)</sup>。本書は、この前後に出版された*Handel Gloria Patri*(辻荘一編)、『日本音楽集成』第1編第1輯とともに、南葵音楽図書館が日本の音楽研究機関として海外に情報発信しようとする姿勢を明確に示すものでもあった。実際、*Bibliography*は世界各国の図書館に贈られたらしく、WorldCatで検索すると、現在でも日本以外に約30の図書館で所蔵が確認できる<sup>(7)</sup>。『南葵音楽事業部摘要』において、*Bibliography*は「此の種[の]研究家にとりては大なる参考資料となるべきを信じる」と、自信を込めて紹介されている<sup>(8)</sup>。

(篠田大基)

(4) 徳川頼貞『菅庭楽話』新版、美山良夫校注(中央公論社、2021) p. 283。

(5) 『日本音楽集成』は第1編第1輯のみが完成し(1930年、岩波書店発売)、続刊はなかった。

(6) 遠藤宏「『南葵文庫』音楽史話」『音楽』3巻5号(1948) p. 37。

(7) <https://search.worldcat.org/ja/title/816832331> (参照 2026.2.3)

(8) 『南葵音楽事業部摘要』第1(南葵音楽図書館、1929) p. 38。

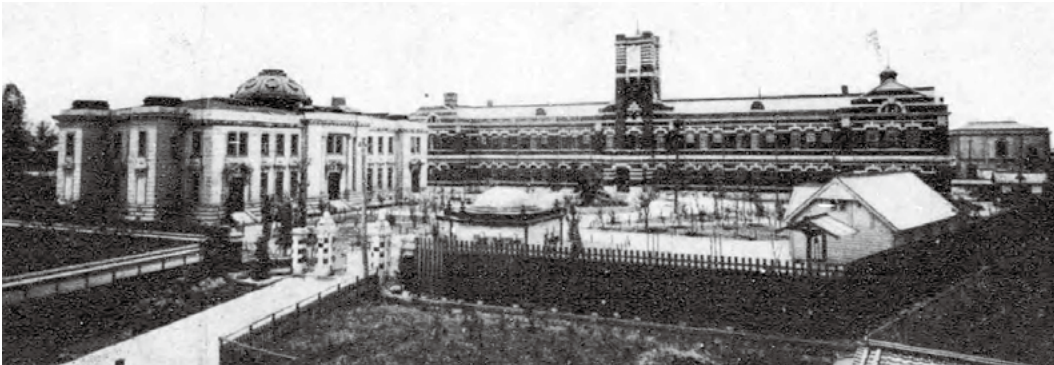


## 関連歴史資料

【翻刻】

## 第八回大會席上に於る總裁の演説（徳川頼倫講演録）

（校註・編 林淑姫）



大阪市立高等商業学校 全景（1914年）

日本図書館協会第八回全国大会  
1913（大正2）年10月24日（金）  
於・大阪市立高等商業学校講堂

出典：「第八回大會席上に於る總裁の演説」  
日本図書館協会『図書館雑誌』第19号〈大阪大会号〉  
（1914年1月25日刊）pp.1-9

〔凡例〕漢字字体、仮名遣い、振り仮名、句読点等を含め転記を原則とした。明らかな誤植脱字は正し、編者が適宜補った振り仮名は（ ）で括った。原文は通し組みだが、本稿では読みやすさを考慮し、節を設けて見出しを（ ）で補った。原本縦組み。



徳川頼倫（1907年頃）

閣下並諸君、本日當地に於きまして本會主催第八回全國圖書館大會を開きましたる所、御多用の時期にも拘らず、斯く多數御來會下されましたことは、誠に本懐の至りに存じますのみならず、此の事業の爲に大に慶賀し、又感謝を致す次第でございます。殊に此の大會に際して今日は文部大臣<sup>(1)</sup>が御臨場の筈でございましたが、御病氣の爲に御出席なく、特に小泉督學官<sup>(2)</sup>を當地へまで御派遣下さいまして鄭重なる祝辭を寄せられました事は、此の圖書館事業に對

して實に面目を添へましたことを深く諸君と共に感佩致さなければならぬと存じます。當地の府知事閣下<sup>(3)</sup>並に市長閣下<sup>(4)</sup>其の他來賓各位には非常なる御同情を寄せられ、少なからざる便宜を與へられ、此の大會を開催することを得ましたのは、誠に本事業の爲に欣喜の次第でございますし且感謝の至りに堪へざる所でございます。唯今は各地から祝辭或は祝電を御送り下さいました。其他最も御禮を申し上げなければなりません。今回大會を開きまするに就

(1)奥田義人(おくだ よしと・1860(万延1)～1917(大正6)年)鳥取出身。東京大学卒。法学博士。衆議院議員、貴族院議員(勅選)。第一次山本権兵衛内閣で文部大臣、法務大臣を務める。シーメンス事件で内閣総辞職後下野し、中央大学第2代学長、東京市長に就任。著書に『民法親族法論』『民法相続法論』(1898)など。

(2)小泉又一(こいずみ またいち・1865(慶応1)～1916(大正5)年)姫路藩出身。東京高等師範学校卒、東京高等師範教授を経て、文部省視学官、のち督学官。著書に『教育史』(1904)『欧米教育の実際』(1905)『實際的小学校教授法』(1913～1918)など。

(3)大久保利武(おおくぼ としたけ・1865(慶応1)～1943(昭和18)年)大久保利通の三男。イエール大学卒業後ドイツに留学。帰国後鳥取県、大分県知事等を経て、1912年大阪府知事に就任。侯爵。貴族院議員。昭和期に日独文化協会会長、日本赤十字社理事を務める。

(4)池上四郎(いけがみ しろう・1857(安政4)～1929(昭和4)年)会津若松出身。藩校「日新館」に学ぶ。1913年より10年間第6代大阪市長を務める。博物館、図書館等教育施設や病院の整備など文化、福祉の充実に努めた。秋篠宮妃の曾祖父にあたる。

きまして、即ち此の會場たる高等商業學校<sup>(5)</sup>に於きまして、多大の厚意を以て種々の便宜を與へられましたのは、誠に感謝に堪へぬのであります。次に住友男爵<sup>(6)</sup>に於かせられましては、此の事業に對して最も御熱心のやうに豫て承つては居りましたが、此の大會の第三日には特に須磨の御別邸に於て我々の爲に園遊會を催されると云ふことで御案内を蒙りました。特に一同に代り御禮を申上て置ます。又當地の大阪朝日新聞大阪毎日新聞兩社に於きましても多大の厚意を寄せられましたことを深く感謝する次第でございます。大阪市役所に於きましては、大會に出席された諸君の爲に種々の便宜を與へられました。是は諸君に代りまして私より感謝の意を表する次第でございます。

今日は單に御挨拶を申述べるに止めた方が宜いかも知れませぬが、幹事諸君の方からして何か一言申上げた方が宜からうと云ふ御話でございます。然るに私は口述を致すことは誠に不馴れで、又腹案等もございませぬが、斯く迄も圖書館事業に就きまして當地の方々が多大の御同情下さるのは、畢竟其の結果他日社會の爲に顯著なる効果を生ずることゝ存じます。それ等を考へますと、諸君の前に於て不肖が何か申すのは避くべきことではない、何歟<sup>(なにが)</sup>申上ねばならぬことゝ存じまして、聊か考へて居ることを此の機會に於て申上げたいと存じます。併しながら前にも申上げました通り、私は斯う云ふ事は至つて馴れませぬから、考へて居りますことの半分も申上げられず、又申上げることも前後複雑を致して、御推察下さらねば御解りにならぬことも多々あらうと存じますから、それ等の點は前以て御承知を願つて置きます。



◀住友友純  
(住友吉左衛門・男爵)

▼住友家須磨別邸



#### (大阪と書物文化—図書館前史)

扱第一に申し上げたいのは、第八回大會を開かれました當大阪と申す土地に就て一言述べたいと存じます。當地は皆さんも御承知の通り古來より書籍とは極めて縁故の深い土地と存じて居ります。それは古い所から申上げますれば、我紀元の九百四十五年即ち應神天皇の御宇の十六年に、丁度應神天皇が難波、淡路、吉備に行幸あらせられました、六年前であります、彼の百濟の王仁が招聘に應じて來航いたしました時に、論語並に千字文を献上致しましたことであると記憶して居ります。其の節は何れの道から來られたかと考へますと、當時の關門でございました浪速津、即ち此の大阪を

(5)大阪市立高等商業學校。日本初の市立専門學校として1901年設立、1928年大阪商科大学。現・大阪公立大学商学部。

(6)住友友純(すみともともいと・1866(元治1)～1926(大正15)年)住友家第15代当主住友吉左衛門。号春翠。男爵。従一位右大臣徳大寺公純の第6子として生れる。次兄は西園寺公望。明治5(1892)年住友家の養嗣子として入籍。1897年欧米漫遊の際、富豪による社会的貢獻に感銘を受け、帰国後大阪図書館創設にあたって建物の寄贈など社会事業を行う。中国古代青銅器をはじめとする書画、西洋絵画の蒐集でも知られ、洋画家黒田清輝、浅井忠をはじめとする日本洋画界の支援者。建築、庭園にも造詣の深い趣味人として高名。10月26日に園遊會が催された須磨別邸は野口孫市(1869～1915年)設計により1903(明治36)年に竣工(跡地は現在須磨海浜公園)。野口孫市は大阪図書館(現・大阪府立中之島図書館)の設計者でもある(次註参照)。

經て参つたのであらうと私は存じて居ります。又近世に於きましても明治時代まで大阪で書籍を出版されましたことは、夥しいものと私は考へて居ります。而して其の書籍が如何にして盛に出版せられたかと云ふことを申述べたいと存じますが、是れに就て今日は餘り時間が掛りますから略します。併し此の出版が多かつたと云ふ原因は、東西で餘程趣を異にして居りませうと存じます。斯くの如く致しまして當地の方々には現今に於きましても書籍を愛し、貴ばれる風が行はれて居ると云ふことは大阪圖書館<sup>(7)</sup>に御関係の方々から毎度承つて居ります。誠に讀書の趣味を有つて居らるゝ方々が多いといふことは、結構なことゝ存



▲大阪図書館 (1909)

▼大阪府立中之島図書館 (旧大阪図書館) (重要文化財)



じ、従つて或部分には圖書館に關する廣い意味の趣味を御持ちになつて居るので、即ち此の圖書館事業に對して意を御用み下さる方々が必ず多いことであらうと推察いたして居ります。此の事柄は獨り我々が關係致して居ります圖書館事業のみならず、實は我國文化の爲に慶賀致す次第で、諸君と共に喜びを申さなければならぬことゝ信じて居ります。

#### (江戸期大阪(大坂)の文人たち)

次に前[に]申上げました通り、當地は書籍に關係の深いことであれば、是まで如何なる方々が世に現れて居られたかと云ふことを申さなければならぬと存じます。併し是等の方々に就ては既に二三年前に朝日新聞社の應援に依つて御講演があつたことですから、唯今私が殊更茲に時間を費して申上げる必要もありませんから、唯單に二三の方々の姓名を申すだけに止めます。是れから申上げる外にも尚澤山御座りませうが、今日はこれを略しますから、左様御承知を願ひます。

第一に如何なる人が高名な方であるかと存じますに就きましても、普通は學者の方面を第一に擧ぐるのが當り前であると存じますが、私は少し考へる處がありまして、今日は當地に於て實業に關係せられて居つた方で、篤學の方々を擧げて見たいと思ひます。其の方々は先づ泉屋理兵衛と申された入江育齋氏<sup>(8)</sup>でございます。それから舟橋屋四郎左衛門の長崎即庵氏<sup>(9)</sup>、三ッ星屋武右衛門の中村睦峯氏<sup>(10)</sup>、道明寺屋吉左衛門の富永芳春氏<sup>(11)</sup>、備前屋吉兵衛の吉田養齋氏<sup>(12)</sup>、鴻池屋又四郎の山

(7)大阪図書館(のち大阪府立図書館、現大阪府立中之島図書館)。1904(明治37)年、第15代住友吉左衛門(住友友純)より建物一式(野口孫市設計)ならびに図書購入基金寄附を受けて設立、開館。

(8)入江育齋(いりえいくさい・1718(寛保3)～1799(寛政11)年。名は友俊、通称泉屋理兵衛)住友家5代友昌の弟。大坂の学問所「懷徳堂」に学び、儒学を五井蘭州、和歌を冷泉為村に学ぶ。病弱の兄友昌に代って住友家の差配を担い、住友家家訓を定める。のち別家を立て両替商を営む。「十人両替」の一人。「性理学」は儒学の学説の一つ。宇宙の原理としての理を究明することを通して人間の本性を明らかにする。

(9)舟橋屋四郎右衛門(ふなはしやしろえもん・生没年不詳。姓は長崎、名は克之、号黙淵、即庵)大坂の学問所「懷徳堂」創設者「五同志」の一人。

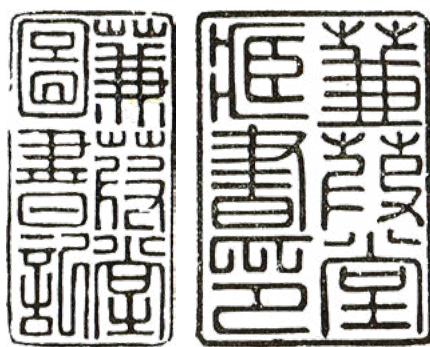
(10)三星屋武右衛門(みつぼしやぶえもん・1674(延宝2)年生。姓は中村、名は睦峰、号良齋)大坂安土町に住み、貸家業を営む。「五同志」の最年長者でまとめ役。

(11)道明寺屋吉左衛門(どうみょうじきちざえもん・1684(貞享1)年生。姓は富永、名は徳通、号芳春)醤油製造業を営む。「五同志」の一人。当初、懷徳堂学舎に家作を提供。三男に富永仲基。

(12)備前屋吉兵衛(びぜんやきちべえ・1693(元禄6)～1767(明和4)年。姓は吉田、名は盈枝。号可久、養齋)大坂の材木問屋。「五同志」の一人。

中宗古氏<sup>(13)</sup>、坪井屋吉左衛門の木村兼葭堂氏<sup>(14)</sup>、それから此の方はどう云ふ屋號を持つて居られたか解りませぬが橋本宗吉氏<sup>(15)</sup>、斯の如く實業に従事された、舊時代で申すと町人の方と俗に申された方々の中に實に篤學の士が如<sup>(かくのごとく)</sup>此居られまして、第一に申上げました入江育齋氏と申す方は今日此處に御臨席下された住友男爵の御祖先であると承はつて居ります。此の方は性理学に精通せられて居つた方であると云ふこととでございます。坪井屋吉右衛門なる木村兼葭堂氏と云ふ人は、自分が申上げるまでもなく、諸君は種々の方面で御承知であらうと存じますが、此の木村兼葭堂氏は、片山北海<sup>(16)</sup>の門人であつて、物産學に精通せられて居り、又其の他種々の事に曉通せられて居つたと云ふことで、實は數日前も此の方の書かれたものを見ましたが、今日若し斯う云ふ方が居られたならば、必ず圖書館或は博物館と云ふものを拵へて居つたらうと考へます。此の當時圖書館或は博物館と云ふものが無かつたのは誠に残念で、外國に對して圖書館の歴史を話すに際しても誠に残念の次第でございます。即ち

必ず圖書館若くは博物館或は陳列所の如きものを企て居られたことゝ推考致すのでございます。それから橋本宗吉氏と云ふ方は、餘程變つた職業をせられて居つたやうであります。即ち傘の印を書く所の職人であつたさうであります然るに感ずる所あつて蘭學を修得せられて、遂に其の當時最も必要な曆學並に醫學等を和蘭書に依つて修得されたと云ふことは非常なものであると云ふこととであります。次に鴻池善右衛門氏、此の方は唯今の鴻池男爵の御先祖であると存じますが、是も中々篤學の方でありまして、其の御履歴は諸君も御承知であらうと思ひますが、私は特に面白いと思ひます逸事を擧げて見やうと存じます。是は初め酒造家で濁り酒を賣つて居られた所が段々勉強の結果遂には關東地方へ酒を賣る分量も多くなつた、所が同業者の或る者が氏の商賈が餘り盛大になるのを羨んで、其の拵へられた清酒の中へ灰を入れたと云ふこととあります。然るに翌日になつて見た所が前日より一層美味を生じたと云ふことを認められた。即ち遺恨を以て灰を入れたと云ふことは偶然のこととあります、併し始終物



▲木村兼葭堂蔵書印2種

◀木村兼葭堂（谷文晁筆）（大阪歴史博物館蔵）

事に注意をすると云ふ心懸は我々が今日最も修養すべき實例であると存じます。それは非常なる注意を以て常に改良をせんとして居る時に灰を入れられたので、それに依つて又改良されたのである。是は必要の時

(13) 鴻池又四郎（こうのいけまたしろう・1692(元禄5)～1754(宝暦4)年。姓は山中、名は宗房、号宗古）2代目鴻池善右衛門の養子。鴻池分家として大坂今橋に住む。「五同志」の一人。

(14) 木村兼葭堂（きむら けんかどう・1736(元文1)～1802(享和2)年。名は孔恭、幼名吉太郎、通称坪井屋吉右衛門、別号巽齋）大坂堀江の造酒屋の家に生れる。好事博学の人として知られ、詩文にもすぐれ、本草学、金石学にも通じ、画家としてしても一家を構える。その蔵書数数万冊に及ぶ。

(15) 橋本宗吉（はしもと そうきち・1763(宝暦13)～1836(天保7)年）傘屋の紋書職人を業としていたが、奇才を認められ、江戸で大槻玄沢に蘭学を学ぶ。帰坂後「絲漢堂」を開き、医業に従事するとともに、天文、地理、医学書を翻訳。蘭書に基づき「エレキテル」を実験、『阿蘭陀始制エレキテル究理原』を著す。大坂蘭学の祖、日本電気学の先駆と謳われる。

(16) 片山北海（かたやま ほんかい・1723(享保8)～1790(寛政2)年。名は猷、通称忠藏。堂号孤松館）越後生まれ。京都で儒者宇野明霞に師事。明霞没後、大坂で儒学塾を開塾。門下生は延べ3000名とも伝えられ、頼春水、木村兼葭堂など俊英を輩出。漢詩人としても広くその名を知られ「混沌詩社」を興した。



▲懐徳堂

▼懐徳堂幅 三宅石庵筆 (大阪大学附属図書館蔵)



ばかりでなく、必要ならざる時にも注意を缺かないと云ふことで、最も面白く且一般に教訓となるべきことゝ信じます。また其の他に實業の方面に於ては高名の方が居られますけれども、それ等は略します。

それから學者の方面に於て二三申上げて見ますと、學者の方面と致しましては、私が茲に多言を要するまでもなく、第一に懐徳堂<sup>(17)</sup>に御關係の方々であります、中井翫庵先生、竹山先生、履軒先生<sup>(18)</sup>などのことは固より精しく申上げる必要はないと存じます。それから麻田剛立先生<sup>(19)</sup>、此の方は皆さん御承知の通り星曆の學に精通せられて居つて、二十餘年の長き間研究をされて、遂に其學力に富まれて居ることを、其の當時の幕府で承知せられて、招聘されやうとしたのであります

ますが遂にそれを辭されて、彼の名高い寛政曆と今日我々が申して居る其の曆日推歩案を立てられた高橋作左衛門と云ふ高弟を進められた。是も面白い話で



▲中井翫庵『とはずがたり』(1849(嘉永2)年刊)

▶麻田剛立「月面觀測圖」写 (杵築市立博物館蔵)



▲中井竹山 (中井藍江筆) (玉川大学教育博物館蔵)

(17)懐徳堂 (かいとくどう) 1724(享保9)年、大坂の富商たちが中井翫庵に諮って創設した学問所。初代学主三宅石庵。2年後に幕府より許され官許学問所となる。運営は創設者「五同志」(前註9-13参照)による。朱子学的な道德觀、經世の策を講じた。富永仲基、山片蟠桃などすぐれた町人學者を輩出。1969(明治2)年廃校。その蔵書は現在大阪大学に在る。

(18)中井翫庵 (なかい しゅうあん・1693(元禄6)～1758(宝暦8)年。名は誠之。通称忠藏。諡号貽範先生)。龍野生れ。三宅石庵(1665(寛文5)～1730(享保15)年)に師事。懐徳堂二代学主。長男中井竹山(なかい ちくざん・1730(享保15)～1804(享和4)年)、次男中井履軒(なかい りけん・1732(享保17)～1817(文化14)年)はともに懐徳堂で五井蘭州に学び、懐徳堂学主(四代、五代)を務め、懐徳堂全盛期を支えた。いずれも当代の代表的儒學者。

(19)麻田剛立 (あさだ ごうりゅう・1734(享保19)～1799(寛政11)年。本名綾部妥彰) 豊後国杵築藩医。脱藩して大坂に隠れ、医業の傍ら天文、曆術を独学。実測を通してケプラーの第3法則を独自に創案するなど画期的業績をあげた。寛政の改曆にあたり幕府の招きを辞退、門弟高橋至時(たかはし よしとき・通称作左衛門)を推し、寛政曆を完成させた。日本最初の月面観測図を残す。伊藤忠敬の師としても知られる。

あると存じます。殊に此の方に就きまして、今日に於て最も面白く感じますのは、餘程篤學の方であると見えまして、斯う云ふ事を言われた。自分は種々の研究をして居つて、人に對して自分の研究した事を施すのであるけれども、若し其の効果が生じて居つても、其の理窟が解らぬ時はまだ自分が及ばないのである。又理窟が解つて居つても其の効果を生じない場合には矢張り自分の力が足りないのである。理窟及び効果が併行して初めて満足するのであるから、之を何處までも研究するのであると言つて居られる。是は誠に金言であると存じます。

次に最も近い學者を申すと、緒方洪庵先生<sup>(20)</sup>でございます。洪庵先生に就きましては、益諸君が克く御存じでございますから委しく申し上げませぬが、此門から出られて、ツイ數年前まで居られた福澤諭吉先生で御座います。此の先生は當地に生れて、さうして當地で教育を受けられそれから



▲緒方洪庵（五姓田義松筆）  
（大阪大学適塾記念センター蔵）

▼適塾遺構（大阪府中央区北浜・重要文化財）



東京へ出られた。皆さんの御承知の如く社會に對して非常なる貢獻をされた方で、誠に當地としては此の上ない結構な話で

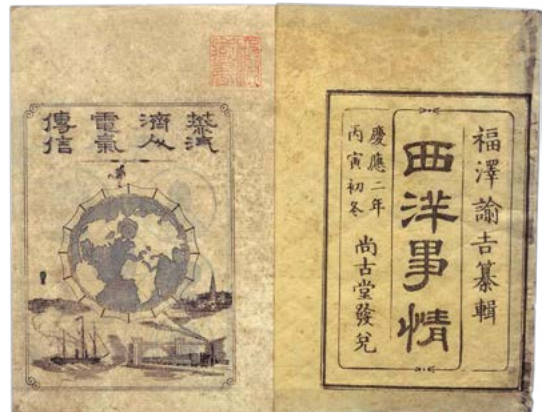
あると存じます。

次に文藝の方面に於ては、近松門左衛門、此の人も當地で文藝上に力を盡されて、其の當時の風俗人情等に付きまして滿腔の氣焔を吐かれて居るやうであります。是等は皆有名な方々であると存じます。

そこで當大阪と東京と對照して如何なる有様であるか、一言之に對して考を申述べたいと存じます。

#### （江戸（東京）の文化、大坂（大阪）の文化）

當地に於きましては藝術の發達致しましたのは、恐らくは元祿享保年間であらうと存じます。さうして當時江戸と申した東京に於ては如何であるかと申すと、東京の方に於ては主として政治上の影響に依つて起るの也有ります。然るに大阪なる當地に於ては、是と全く趣が變つて居りまして、總てが經濟上の發達に伴つて居りますので、兩者其の趣を異に致して居るのであります。殊に經濟上の發達に伴ひますから、従つて實業家の方の力に依ると申しても差支ないかと存じます。前に申上げました懷徳堂の如き、教育的方面、文學藝術的方面共に今日で申すと平民の趣味の修養に外ならぬと申して差支ないと思ひます。江戸の方面になりましては政治的又貴族的と申すべきでありませうか、大阪は前に申上げた通り何れの方面に致しても經濟的、國民的の特徴は何事に拘らず現はれて居るやうに見えるのであります。是は以前のみな



▲福澤諭吉『西洋事情初編』（1866（慶応2）年刊）  
（江戸東京博物館蔵）

(20) 緒方洪庵(1810(文化7)～1863(文久6)年。旧姓田上、名は惟章。緒方三平、利平、号洪庵、適々齋、華陰)。備中生れ。大坂で蘭方医中天游、橋本宗吉に師事、のち江戸と長崎で医学、蘭学を学ぶ。1838(天保9)年、29歳のとき、大坂に医業を開業するとともに蘭学塾「適々齋塾(適塾)」を開き、大村益次郎、福沢諭吉など多くの人材を育てた。

らず、今日明治大正の時代に於きまして、無論特徴として十分之を發揮せらるゝ傾きがあらうと自分は感じて居るのであります。

斯の如く當地は文化並に書籍に因縁の深い所でございますが、本日諸君と共に大會を開くことを得ましたのは誠に衷心欣喜に堪へぬ次第でございます。茲に一言を呈して圖書館協會諸君に申し上げたいと存じます。それは今日圖書館協會の會員の方々が多數御集りであるので、先頃總裁に就任致しました節にも、御出でになりました方々も御みでと存じますから、或は二重になるかも知れませぬが、總裁になりましたから始めて御目に懸る方が多いと存じますから、其の事に就て申し上げたいと思ひます。

#### (社会教育機関としての図書館)

此の度圖書館協會の總裁と云ふことを御引受け致しまして、諸君と一場に會しましたのは、誠に私の光榮と致す次第でございます。實は此の總裁のことに就きましては、協會の重なる方々から三四年前よりしてどうかと云ふ御勧めを蒙りましたけれども、自分は少しもさう云ふ経験も無く、又力も足りませぬ。今日ですら足りぬのでございますから、まして數年前は尙足りぬので御斷りを申上げて置きました。併しながらどうしても御聽入れがなく遂に諸兄等の御懇諭に服し自分の力の足らぬのも顧みず、此の重大なる事業の總裁と云ふことを御引受を致しましたのでございます。不肖は何等學力も無く、経験もなく、唯祖先の餘慶に依りまして僅に名を得るやうなことでございまして、此の事業たる實に重大なもので、人間の一生に關する教育事業であります。斯くの如き重大なる事業を致す協會の總裁に自分が就任を致すと云ふことは、誠に自分の力の足らぬのを耻づるのでござい

ます。併しながら先刻來皆様の御話の通り、此の事業は誠に重大でありますから、及ばずながら力の有る限り本事業に盡したいと存じますし、且又諸君の御厚意に酬ひやうと期して居るのであります。どうか左様御了承を願ひたいと希望して居る次第でございます。

顧みますのに圖書館は尤も有力なる教育機關の一ツで、先刻太田〔爲三郎〕會長が言はれました通り學校教育と相並んで其の修養に利益を致し、學校を卒へましたものも、又卒へざる者も、共に人生の修養を致しするには圖書館に依らなければならぬのでございます。此の事は御経験ある諸兄の前に自分が多言を要する必要がないと存じます。斯く申しますと、此の圖書館は徳風養成<sup>(21)</sup>の源泉でございまして、又實に教化の中心となつて居ると信じて居ります。而して此の徳風養成の源泉、教化の中心たる圖書館は全國に亘つて、既に六百以上も出來て居るさうで、其の必要なることは自分が喋々を要せざる所でございます。

#### (図書館と博物館)

次に不肖賴倫が數年前より懐抱いたして居りました點を極く簡単に申し上げまして、諸君の教を請ひたいと存じて居ります。其のことは此の圖書館に依りまして確實なる智識の程度を高めて行く上に於きまして、又自得いたしたことを應用する、即ち實物に照して正確なる事を得やうとするのにも、圖書館だけでは不足であらうと存じます。それに就ては何う云ふものを要するかと申すと、博物館であらうと存じます。先刻も小山君<sup>(22)</sup>の御話を拝聽致して居つて、益<sup>(ますます)</sup>其の感じを深く致したのでございます。と申すのは圖書館は普通考へます所では書籍を読む所である。面白い書籍が讀まれると云ふことだけは誰方も御存じ

(21)「徳風養成」「徳風教化」は当時教育界をはじめ言論界で一般的に用いられた語句。道德の教化の意。「徳風」の基本は1890(明治23)年に發せられた「教育勅語」に置かれる。

(22)小山健三(1858(安政5)～1923(大正12)年) 武州忍藩に生れる。藩校進修館に学び、長野県師範学校等で教員を務めた後、文部省に奉職。高等商業学校(現一橋大学)校長、文部次官を経て。1899(明治32)年大阪の三十四銀行(のち三和銀行、現三菱UFJ銀行)の第2代頭取に就任、25年間その職に在り、銀行の改革に努めた。大阪財界の有力者。文部官僚としての経験から文化事業への支援に努める。当日の演説は賴倫の講演に先立って行われ、図書館利用促進のための方策検討の提言と実業界の図書館支援について述べた講演録「所感」は図書館雑誌同号に掲載。



▲小山健三(三十四銀行頭取)

でありませうけれども、それを如何に活用しようかと云ふことは、博物館の物品を見まして、此の品はいつの時代のものである、或は是は如何にして知るべきものであるかと云ふ感じを博

物館に依つて起されるのであります。其の場合に圖書館が無くてはならず、又博物館があつて、實際當時の品物を観察しなければならぬと云ふことが必ず生ずるので、兩者相俟つて此の圖書館の事業が益發達致し、單に智識のみならず、趣味の涵養を致すことが必要で、高尚なる人生、又は穩健なる思想を養はなければならぬと存じます。それ故に自分は國立博物館が出来ずとも、私立でなりとも、或は一部の陳列なりとも出来すれば、誠に圖書館の爲に結構なことであらうと存じます。殊に當地の如きは實業の土地でございますから、實業に關することを御設備になつて、大阪圖書館或は將來出来ます所の圖書館と相結んで國家の爲に御盡力あらんことを望みます。

#### (図書館と図書館員—無用の用)

今一ッ申上げて置きたいのは、此の圖書館といふものは或る方面に於ては誠に用事が無いやうに見えます。又他方では最も必要である。是れが餘程面白い所で、例へば家屋を建てるに就きましても、<sup>かみ</sup>上の間一<sup>ま</sup>間で宜しいか、或は上の間に續いて二の間を置く方が便利であるかと云ふと、或る時は二の間を置く必要が無い、十畳の間或は八畳間で結構である。又或る場合には二の間を置く必要があると云ふ如く、圖書館も平日必要の無い時もあるが、常に圖書館を利用して居れば、何かの時に必要が起るのであります。又圖書館の館員としても、平常無用の館員と思はれて居るものが、その實なかなか必要なのでございます、それは何

かと申すと、或る書籍を調べる、即ち社會に於ての出來事に就て斯う云ふことがあるが、是れはどう云ふ事であるか、斯う云ふ事に就ては是まで何か著述とか或は論説の如きものはあるまいかと尋ねられた時に、それは何々博士の論文があると云ふやうなことを御答へする。さう云ふ方法としては是が誠に必要なのである如く、二の間附と云ふことは必ずしも無用ではないと存じます。或る場合には必要であると思ふ。即ち此の二の間、上の間相俟つて働きをする如く、博物館と圖書館とが相俟つて非常なる效能があるやうに自分は感じて居ります。而して當地の如き所では尙更前に申した通り商工業方面の方々と接觸を致し、握手を致して、親密の關係を結んで、實用的に成功することを私は偏に希望いたして居るのでございます。

#### (郷土資料の蒐集—地域文化の振興)

今一ッ圖書館に就て希望を述べて置きたいのは、圖書館と致しまして智識を進め修養を助くる場所と致した上に、今一ッ重大なものがあらうと存じます。それは郷土に關する材料を集めて置くことであります。即ち其の地方地方の圖書館に於て之を集められて居ると、其の土地の事情も分り、又趣味を重んずることになりまして、段々其の地方の美點を發揮することにならうと存じて居ります。是が最も必要な事柄でございます。圖書館に於きましても、地方に依つては之に御注意あらんことを切望いたして置く次第でございます。

斯くの如く致しまして本來の任務たる徳風の源泉教化の中心として其の効果を大にすることが出来やうと考えまして、其の希望の達せられる時機が一日も早く到來することを切望いたして已まぬのでございます。

#### (図書館員の使命)

諸君も御承知の通り圖書館は單に書籍の倉庫ではございませぬ。今申上げました所の種々の仕事を持つて居るので書籍を活用して見る所でございます。徳風の源泉教化の中心となるべき本來の使命を有して居る

のでございますから、此の使命を完ふ致すには、學校に於きまして教鞭を執らるる方々の如く、此の事業に關係を有せらるゝ方々も、其の徳風の源泉並に教化の中心の人とならなければならぬのでございます。而して此の圖書館を活用いたして参るのも、或は死物に致すのも、實は當事者たる圖書館に關係せらるる諸君の努力如何に依ることゝ自分は確信致して居ります。故に圖書館に關係を持たれて居る方々は、申し上げる迄もなく書籍の整頓または事務上の熟練は無論のことでございますが、人に對し世間に對し圖書に對する此の三大關係を最も重んじなければならぬだろうと存じて居ります。其の上に前申上げました徳風の源泉教化の中心と云ふ本來の性質を自覺せられて、最も其の地位の重きを知つて、徳化の輔導者たることを十分に盡されんことを希望致して居る次第でございます。

#### (圖書館の現況と今後に向けて)

全國に於ては圖書館の数は、本年六月不肖が總裁の任をうけました當時には、五百四五十と存じて居りましたが、今日は六百となつた云ふが如く、日に月に隆昌に向ひつゝあるのでございますけれども、まだ中々是で満足を致すことは出来ぬ時であらうと存じます。が併し今日僅かの間に六百に達したと云ふのは、實に圖書館に御關係のある諸君の今日までの御盡力が基礎になつて居るので、是は誠に感謝する次第でございます。尙此の上にも充分御盡力下さいませれば、御希望に副ふことが速かであらうと信じて居ります。併し是は單に圖書館事業に關係を有つて居る我々ばかりでなく、之に御關係のない他の方面の方々にあつても、御同情を御寄せ下されば共同一致して本事業の益々盛んになることゝ確信いたして居ります。

尙圖書館に就て自分の感じをモウ一言述べたいのは、此の圖書館の新設に就て注意を要するのは、規則は隨分能く出来て居り、規則が整備いたして居るからと云うても亦、事務が敏捷に参る方法が出来て居りまして、唯規則に依つてやつて居るだけで

は、好結果を得ることは出来ぬであらうと存じて居ります。是はその衝に當らるゝ方の奮勵如何に依るので、其の奮勵せらるゝ熱度の高ければ高きに従つて著しい効果を生ずることゝ存じます。

#### (人間一生にかかわる図書館事業の責任と意義 —図書館事業は愉快なり)

斯く申しますれば實に我々此の圖書館に關係ある者は、圖書館の事業は如何に愉快なるものであるか、我田引水ではございませぬが、此の事業は面白く又重大なる責任のあることゝ存じます。と申しますのは兒童の學校を卒へた者ばかりでなく、人間一生に關すること、實に愉快なる事業と信じて居ります。それを考へましても不肖の如き何等學識のない者が總裁の重任を承けると云ふことは、誠に慙愧の至りに堪へぬのでございます。どうぞ事務上の事に就きましても、亦修養上の事に就きましても、徳風の源泉教化の中心とも申すべき圖書館事業でございますから、内外共に一致せられて、益々其の効果の大ならんことを、獨り此の事業のみならず、封家の爲に諸君と共に希望致して已まざる次第で(まします)益發揮致しまするのには、互に切磋琢磨いたし、修養を積んで参らなければならぬのでございます。茲に至りまして全國圖書館大會の必要が生ずるのであらうと存じます。それは單に事務上の事のみならず、相互に實驗された事を交換し、研究並に講話等をされたならば、此の大會が此上もなき好結果を擧ぐることであらうと存じます。

餘り長くなりますから是れにて止めまして、終りに臨み一言申し上げたいのは、唯今まで不肖が甚だ淺薄なる事ばかり申上げたに拘らず、ご清聴下さいまして感謝に堪へぬのであります。どうぞ我が國の圖書館事業が今後益々隆盛ならんことを諸兄と共に希望致す次第でございます。

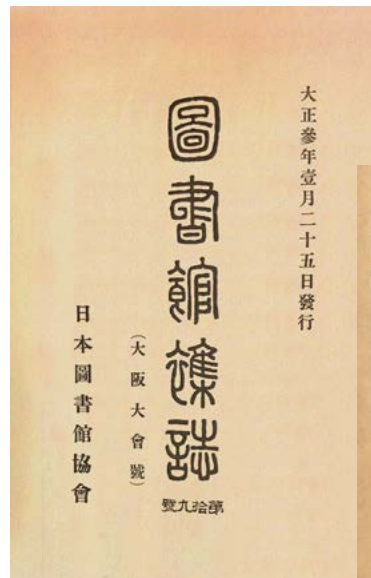
承る所に依りますと、今日此の大會を開くに就きまして、遠近を問はず御集會下され、而も斯く多數御出席を戴きましたことは感謝に堪へぬ次第で、今日は誠に天気も

好都合で気も爽やかな時であり、且又御多用の折に拘らず閣下並に諸君が斯く多数御來會下さいましたことは誠に此の事業の爲に光榮と存じます。終に臨んで皆さんの御健康を祈る次第でございます。(拍手)

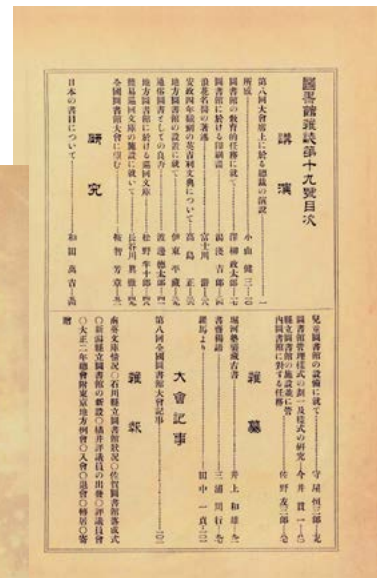
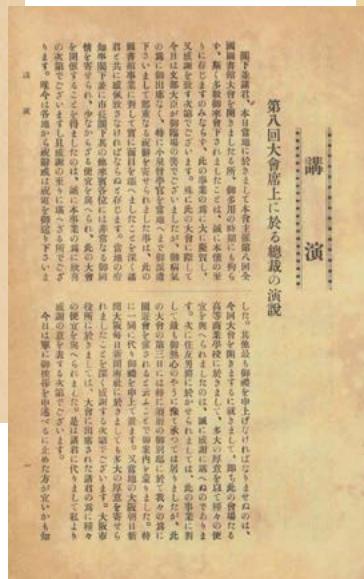
【解説】「図書館事業は愉快なり」(徳川頼倫)

本講演は1913(大正2)年10月24日、大阪で開かれた日本図書館協会第8回全国大会初日に行われた。新総裁徳川頼倫(1872~1925年)が全国図書館関係者に向けて発した最初のメッセージである。南葵文庫庫主徳川頼倫が日本図書館協会の歴代会長たち—和田萬吉(1865~1934年・2代目会長1904~07年在任)、市島謙吉(1860~1944年・3代目会長1907~10年在任)、太田為三郎(1864~1936年・6代目会長1913~14年在任)の訪問を受け、その懇請に応じて同協会総裁就任を承諾したのは1913(大正2)年4月のことであった。同年6月18日に総裁推戴式が開かれ正式に就任が公表されたあと、10月の全国大会に総裁としてはじめて臨んだのだった。頼倫は南葵文庫が公開私立図書館として発足する

一年前の1907(明治40)年から協会(当時日本文庫協会。1908年3月改称)への人的経済的支援に熱心であった。欧米視察の旅以来、近代日本社会に必須の文化施設としての図書館の意義を痛感していた彼にとって図書館団体を束ねる協会の運動は重要なものとして考えられていたであろう。本人も名誉会員として加わっていたが、文庫主幹斎藤勇見彦(1859~1917年)、掌書長橘井清五郎(1876~1947年)を役員に派遣するなどして組織運営にも関わっていたようである。私立図書館「南葵文庫」は、その理念、蔵書の質、運営方針、資料管理法、環境、調度品なども含めて揺籃期にあった当時の図書館界の注目を浴び、図書館の理想型として憧憬的ともなっていたから、人びとの庫主頼倫に対する信頼と期待は大いなるものがあつた。協会としては早くから頼倫に総裁就任を交渉していたようだが本人の固辞にあつてなかなか実現せずこの年になってようやく承諾を得たという経緯がある。実際に図書館を運営してきた5年間の実績を背景とした頼倫の講演に全国から集まった人びとは深い関心を寄せたことであろう。



▲『図書館雑誌』19号(1914年1月) 表紙・第1ページ・目次



第8回大会「大阪大会」は、1913（大正2）年10月24日から27日まで4日間にわたって開かれた。参加者166名。主要会場は市立高等商業学校である。文部省に対し「図書館事項調査委員会」設置の提案、「図書館事業奨励の為の国庫補助」建議の決定などの議事に次いで、地方図書館、児童図書館、巡回文庫などの現状報告と課題、和装本の整理など図書館界が直面する諸問題についての発表があり、加えて内藤虎次郎（湖南）の「支那書目に就て」、和田萬吉「日本書目に就て」、湯浅吉郎「図書館に於ける印刷画に就て」、また医師富士川游が東京から駆けつけて「浪花名医の著述」の講演を行うなど多彩なプログラムが展開された。3日目の26日午後、住友友純の招待により、住友家須磨別邸で開催された園遊会では、軍楽隊の演奏をバックに午餐の宴が開かれ、参加者を感激させてもいる。大会の様子は翌年1月に刊行された『図書館雑誌』19号の報告に詳しい。

頼倫の講演は初日24日午前の部の最後に行われた。講演内容は前半が江戸期大阪（大坂）における民間経営の学問所や文人たちの活動、後半が図書館の理念、図書館と社会、図書館事業に携わる人びとの任務と課題である。頼倫はこれ以降も全国各地で開かれた大会にこまめに出席し、総裁として挨拶を兼ねた講演を行っているが、その構成は踏襲され、それぞれの地域固有の文化に触れながら図書館の課題について述べる。8回大会の講演は就任最初ということもあって、前段も後段もほかに比べてとりわけ力のこもったものである。以下『図書館雑誌』に掲載された講演録に添って見て行くことにする。なお、翻刻文中の見出しは編者による。講演の性格上、時代を反映した言葉遣いや言い回しに加えて言及に重複や順序が前後している箇所もあるので読者の便宜を配慮して加えた。

前段で頼倫は大坂（大阪）の5人の富商たちが設立した学問所「懐徳堂」に特に注目した。大阪の地が元来商人の町であり、彼らの経済的支援によって学問や文藝が奨励さ

れてきたことに、頼倫は欧米、とりわけ米国で見聞したニューヨークのカーネギーの出資による文化施設や基金、ボルチモアのイーノック・プラットによる公共図書館設立など富豪たちの文化貢献と同種の精神を見出し、彼らが残した遺産を語ることによってその継承を訴える。当日頼倫の前に講演をした三十四銀行頭取小山健三の言や大阪図書館を寄付した住友友純の出席も心強くとらえられたことであろう。

図書館の社会における意義と理念が後段につづく。先ず社会教育機関としての図書館が「高尚なる人生又は穩健なる思想を養う」ことを目的とすることを確認した上で、具体的な諸問題について語られる。「読む」図書館と「見る」博物館の連携の必要性、図書館の郷土資料蒐集が地域文化の振興につながることに、図書館員は学校に於ける教師と同様の役割を有すること、そのためには書籍の整理等事務に熟達することは言うまでもないが書物（知識）の案内と指導を行えるよう教養を積むこと、図書館を運営するための諸規則が効果的に作用するための日々の努力を怠らないこと、図書館に携わる者は常に、図書館が社会と人と書物との「三大関係」に於いて成立していることを忘れてはならないこと。そして最後に彼は言う。人間の一生にかかわる図書館事業には重大な責任がともなうが、そうであるが故にこの事業に携わることは喜びをももたらす。図書館の事業は「人間一生に関すること」で、実に愉快なる事業と信じております。」

南葵文庫の創設理念とそれを具現化するために実践してきたさまざまな工夫と施策を背景としたこの頼倫の講演は重要である。謙虚で控えめな語り口ながら、その主張の熱度の高さは、文庫創設より15年、一般公開から5年という歳月の間に、積み上げられた経験と実績に基づくものである。時代性を色濃く映した言辞があるともなお今日の図書館運動に通じるものがある。



## 収蔵資料 目録と紹介

## 南葵音楽文庫収蔵「カミングス文庫」の研究

### —カミングス文庫「手写資料」および「一般書」目録—

これは、南葵音楽文庫が収蔵するカミングス文庫の「手写資料」、および「一般書」の目録である<sup>(1)</sup>。『カミングス文庫「音楽書」目録』<sup>(2)</sup>、および『カミングス文庫「印刷楽譜」目録』<sup>(3)</sup>の続編であり、これらの「手写資料」と「一般書」の目録をもって、カミングス文庫の目録は完結することになる。

南葵音楽文庫収蔵のカミングス文庫については、1925（大正14）年にその唯一の目録となる"*Catalogue of the W.H. Cummings' Collection in the Nanki Music Library*"（以下『1925年カミングス文庫目録』）<sup>(4)</sup>が編纂されたが、刊行から長い年月が経過して入手が困難となり、さらに今日に至る100年の間に失われた資料もあり、現状を反映した最新の目録の作成が喫緊の課題となっていた。1970（昭和45）年にはカミングス文庫をはじめ、フリートレンダー文庫<sup>(5)</sup>などを含む、南葵音楽文庫の貴重書全体を対象とする大木コレクション・南葵音楽文庫編『蔵書目録（貴重資料）*Catalogue of Rare Books and Notes*』（以下『1970年貴重書目録』）<sup>(6)</sup>が編纂されたが、いずれの資料がカミングス文庫に属するものであるのか記載されて

いないため、これをカミングス文庫の目録とすることはできない。

南葵音楽文庫のカミングス文庫は、世界的にも貴重な資料を含む、南葵音楽文庫の中核に位置する重要な資料群である。それは、イギリス、ヴィクトリア朝を代表する音楽資料収集家であるウィリアム・ヘイマン・カミングス William Hayman Cummings (1831～1915年) の旧蔵書の一部で、徳川頼貞が、南葵楽堂に付属の音楽図書館の資料を充実させるために<sup>(7)</sup>、1917年に購入したものである<sup>(8)</sup>。

カミングス文庫全体は、主に楽譜、音楽書、一般書から構成され、特に楽譜資料には手写資料と刊本資料がある。数は多くはないが、音楽とは直接関係のない一般書も含まれている。総資料点数は、合本となっている資料（単行本など）を個別の資料として数えると700点を超える。今回の『カミングス文庫「手写資料」目録』が対象としたのは、手写楽譜を中心に書簡などを含む手写資料、そして『カミングス文庫「一般書」目録』に分類、収録したのは、文字通り楽譜や音楽書以外の一般書であるが、一部には楽譜が掲載された詩篇書や典礼書などが含まれる。

(1) 本目録の作成にあたっては、元国立音楽大学附属図書館司書の長谷川由子氏、和歌山県立博物館学芸員の竹中康彦氏、和歌山県立図書館南葵音楽文庫研究員（元旧日本近代音楽館主任司書）の林淑姫氏、さらに坂口佐知子氏をはじめ、和歌山県立図書館の皆様から多大な協力をいただいた。記して感謝申し上げます。

(2) 佐々木勉「南葵音楽文庫収蔵『カミングス文庫』の研究—その沿革とカミングス文庫『音楽書』目録」『南葵音楽文庫紀要』4号（2021）p.15-24, 72-85.

(3) 佐々木勉「南葵音楽文庫収蔵『カミングス文庫』の研究—カミングス文庫『印刷楽譜』目録」『南葵音楽文庫紀要』8号（2025）p.46-85.

(4) *Catalogue of the W.H. Cummings' Collection in the Nanki Music Library*, (Tokyo : Nanki Music Library, 1925).

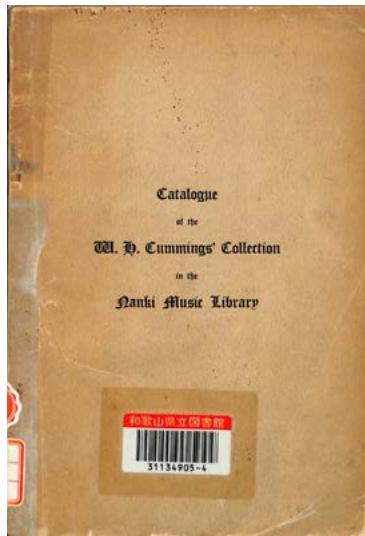
なお、1929年には *Catalogue of the Nanki Music Library, Part 1 Musicology*, (Nanki Music Library, 1929) が刊行されたが、カミングス文庫については、すでに1925年に目録が刊行されているという理由で除外された。また兼常清佐と辻荘一の共著による『南葵音楽図書館所蔵カミングス文庫に就て』南葵音楽図書館（1926、非売品）は、カミングス文庫の蔵書を網羅的に解説したものではない。

(5) フリートレンダー文庫については、林淑姫「フリートレンダー文庫 目録と解説」『南葵音楽文庫紀要』5号（2022）p.64-67、および林淑姫「フリートレンダー文庫目録（旧南葵音楽図書館所蔵『マックス・フリートレンデル文庫』）」『南葵音楽文庫紀要』5号（2022）p.68-77を参照。

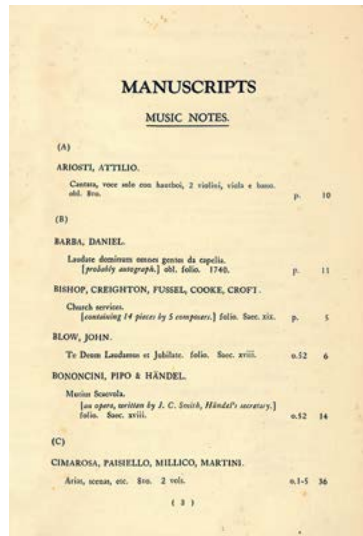
(6) 大木コレクション・南葵音楽文庫編『蔵書目録（貴重資料）*Catalogue of Rare Books and Notes*』, 東京音楽文化センター, 1970, 非売品。

(7) 徳川頼貞『菅庭楽話』美山良夫校注（中央公論新社, 2021）p.153-154.

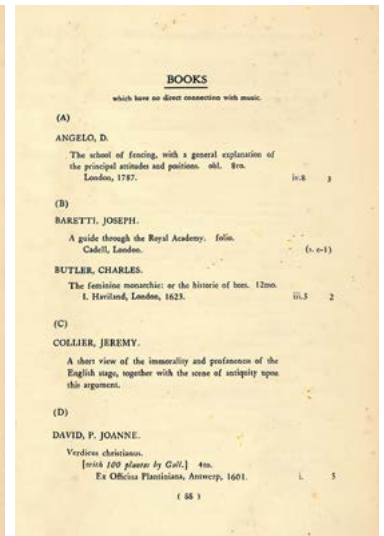
(8) 購入の経緯については、篠田大基「ダブルユー・エイチ・カミング博士文庫」『カミング音楽文庫競賣残餘図書購入頼末』「資料解題」『南葵音楽文庫紀要』1号（2018）p.88-91、および佐々木勉「南葵音楽文庫収蔵『カミングス文庫』の研究—その沿革とカミングス文庫『音楽書』目録」『南葵音楽文庫紀要』4号（2021）p.18-19を参照。



1925年版目録「表紙」



同目録「手楽楽譜資料」及び「一般書」の各冒頭ページ



### 凡例

目録の記述は、「手写資料」目録においては、作曲者や著者、表題や収録作品名、資料の形態、成立年代、ページ数およびサイズと判型、注記1（旧蔵者の蔵書票やサインなどの来歴に関連する情報）および注記2（合本情報、楽譜の形態など）、請求記号、『1970年貴重書目録』における記載ページ、旧資料記号<sup>(9)</sup>（『1925年カミングス文庫目録』における番号）、そしてカミングス旧蔵コレクションの競売目録<sup>(10)</sup>（ロット）番号（特定できる場合のみ）からなる。

「一般書」目録においては、著者、表題、出版地と出版社（者）、出版年、ページ数およびサイズと判型、注記1（旧蔵者の蔵書票やサインなどの来歴に関連する情報）および注記2（合本情報など）、請求記号、『1970年貴重書目録』における記載ページ、旧資料記号（『1925年カミングス文庫目録』における番号）、そしてカミングス旧蔵コレクションの競売目録（ロット）番号（特定できる場合のみ）からなる。

各資料の記載順は、基本的に作曲者、あるいは著者のアルファベット順、さらに一人の作曲者（著者）に複数の作品（著作）があ

る場合には、タイトルのアルファベット順による。個別に刊行された、あるいは筆写された、異なる作曲家による複数の資料が一冊に製本され、合本になっている場合、当目録では、それらを個別に記載し、「注記2」にいっしょに合本されている他の資料を示した。資料記号（請求記号）は、現在も使用されていることから、『1970年貴重書目録』に従った。そして合本内の複数の資料を個別に記載した場合には、請求記号の後に括弧（ ）に入れてその収録順を示した。タイトルは、全体を転記するように努めた。資料のサイズは実測によっており、最大値を示したが、誤差が大きいことをあらかじめ明記しておく。資料サイズには、『1925年カミングス文庫目録』に記載されている判型を付記した。なお、作曲者名などについては、原則的に『ニューグロヴ世界音楽大事典 *The New Grove Dictionary of Music and Musicians*』（2001）の表記に従い、生没年を付した。

それぞれの目録の最後には、『1925年カミングス文庫目録』に記載はあるが、現在所在が確認できない資料の一覧を付した。（佐々木勉）

(9) 『1925年カミングス文庫目録』における図書の種類については、次の論考に詳しい。林淑姫「ミュージック・ライブラリーの夢、南葵音楽文庫の成立と展開」(2) 『南葵音楽文庫紀要』2号(2019)、p.15-24。

(10) *Catalogue of the Famous Musical Library of Manuscripts, Autograph Letters and Printed Books, The Property of the Late W.H. Cummings, Mus.Doc. of Sydcote, Dulwich, S.E.*, (Sotheby, Wilkinson & Hodge, 1917).

## 南英音楽文庫収蔵カミングス文庫「手写資料」目録

作曲家、著者 Composer, Author	表題、内容など Titles, Contents, etc.	資料の形態 Source type	年代 Dates
<b>証書、手紙など</b> <b>Documents, letters etc.</b>			
1 Purcell, Thomas (?-1682)	"This ffor Mr. John Gostling, Chaunter of the quire of Canterbury Cathedral. Canterbury. London the 8th of ffeb. [16]78"	Autograph letter, dated Feb. 8. 1678, to John Gostling (c.1650-1733)	February 8, 1678 London
2 Purcell, Thomas (?-1682)	The Autograph Deed	Autograph deed, dated May. 15.1681.	May 15, 1681
3 Rossini, Giacomo (1792-1868)	Letter to Ralph Arthur Sequin, secretary to the King's / Her Majesty's Theatre	Manuscript letter with autograph signature	October 28, 1827 Paris
4 Attributed to Rossini, Giacomo (1792-1868)	Example of a cadenza for a duet from "Moses in Egypt" A written example of an ornamented cadenza for a duet from "Moses in Egypt" which premiered in Naples in 1818.	Manuscript copy, score	[n.d.]
5 Attributed to Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Some golden rules for the attaining to play through-bass	Music theory notes written on both sides of a single sheet of paper	[n.d.]
<b>楽譜資料</b> <b>Musical score materials</b>			
1 Amadei, Filippo (fl.1690-1730)	Muzio Scaevola (Incomplete) Filippo Amadei (fl.1690-1730), Act.I. Giovanni Bononcini (1670-1747), Act.II. Georg Friedrich Händel (1685-1759), Act III.	Manuscript copy, score	18th c.
2 Blow, John (1649-1708)	Te Deum Laudamus ("We praise thee"), Jubilate ("O be joyfull in the Lord")	Manuscript copy by Joseph Burton?, score	1774
3 Bononcini, Giovanni (1670-1747)	Muzio Scaevola (Incomplete) Filippo Amadei (fl.1690-1730), Act.I. Giovanni Bononcini (1670-1747), Act.II. Georg Friedrich Händel (1685-1759), Act III.	Manuscript copy, score	18th c.
4 Cimarosa, Domenico (1749-1801)	La Sannite Marcia a tre voci del Sig. D. Domenico Cimarosa in Napoli. Presso Luigi Marescalchi	Manuscript copy, score	18th c.
5 Costa, Sir Michael (Andrew Agnus) (1808-84)	Opera "Malek Adel" (1844, London)	Manuscript copy, partly in his own handwriting, score	s.d.
6 Cramer, Johann Baptist (1771-1858)	New practical school, or instrumental solfeggio for the pianoforte. Consisting of 100 examples or specimens of passages in different styles of progressive difficulty.	Autograph, score	19th c.
7 Crotch, William (1775-1847)	XXX Rounds for the pianoforte	Autograph, score	July5,1815- Sep.17,1816.
8 Dal Barba, Daniel (Pius) (1715-1801)	"Laudate dominum omnes gentes" da capella à 2 tenori e Basso con violini di Daniel Barba...Aprile 1740 in Verona.	Manuscript copy, score and parts	18th c.
9 Greene, Maurice (1698-1755)	Anthem "O clap your hands"	Autograph, score	18th c.

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	頁数 Page in the 1910 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue	
1p., 26.2 x 20.2cm, framed 4to			L-4	1	d.2/3	171	1
1p., 29.7 x 19.6cm, framed 4to	Signed by Frances Purcell, wife of Henry Purcell.		L-12	1	d.2/3	171	2
4to	Body of the letter, written by unknown hand, with autograph signature		L-5	1	d.2/4	176	3
2p. (both side of a paper)., 24.6 x 24.3cm: 4to	"Probably Autograph of Rossini" written by W.H.Cummings with blue pencil		L-10	11	o.51/41	176	4
2p., 22.5 x 18.5cm: 4to	According to notes in another hand, at the bottom of the second page of Ms., "Ms. of Fred. Handel given to Court (Bernard?) Granville of Calwich Abbey, Staffordshire... This is Handels own handwriting..."		L-11	1	d.2/2	133	5
330p. 30.5 x 24.2cm: folio 1-155p.(Act III) 157-237p.(Act.I) 238-330p.(ActII)	Front endpaper: Exlibris of W.H.Cummings "This was vouched to me as genuine when recently sold by the Field Family at Bath Mar.16/68. G.A.Davies 417 Oxford St. London" written by probably W.H.Cummings. Signature of "Tho[mas] Field, Organist of Bath,1803" "Copied by Smith, Handel's amanuensis & used by Handel" written by unknown hand. Pasted to the endpaper is a slip of paper that describes the work's origins, based on the account in Volume 4 of Charles Burney's A General History of Music (1779, 2nd ed) , and then added "I bought this volume of music of the Davies on 16 March 1868. S.N.Butler Dartmouth Hill, London" to the paper. Signature of "Tho[mas] Chilcot, Org. Bath" on the 1st page, and the endpaper contains an introduction to his career, written by unknown hand. Back endpaper: G.A.Davies' Catalogue XLVI (1868) is pasted. Tucked into the volume was a letter dated September 24, 1912, from Dr. A.H.Mamm of Cambridge to W.H. Cummings.	See Bononcini, G., Händel, G.F., "Muzio Scaevola," N-3/18	N-3/18	7	o.52/14	818	1
43p. 36 x 23cm: folio	Signature of W.H.Cummings Exlibris of W.H.Cummings Signature of "Jos. Burton Jan...4.1774" (name of the copyist or the former owner?)		N-7/9	3	o.52/6		2
330p. 30.5 x 24.2cm: folio 1-155p.(Act III) 157-237p.(Act.I) 238-330p.(ActII)		See Amadei, F., Händel ,G.F., "Muzio Scaevola," N-3/18	N-3/18	7	o.52/14	818	3
14p. 20 x 27cm: obl.8vo	Exlibris of W.H.Cummings Handwritten table of contents on the front endpaper Signature of "Gos. Smith" on the inside cover.	Bound with N-2/14(2)(3)	N-2/14(1)	3	o.1-5/36		4
604p. 33.8 x 27.0cm: folio (N-7/49) 427p. 33.8 x 27.0cm: folio (N-7/50)"	Exlibris of W.H.Cummings in both volumes		N-7/49 N-7/50	5	o.52/8	1010	5
44p. 24.0 x 32.1cm: obl.folio	On the reverse side of the front cover: Exlibris of W.H.Cummings and his signature. His note "This volume is in the handwriting of J.B.Cramer, and is signed by him on the 1st page." Handwriting note of J.B.Cramer in black and red-ink with autograph signature on the 1st page.		N-6/24	5	f.11/2	529	6
22p. 25 x 38cm: obl.4to	Exlibris of W.H.Cummings Signature of Crotch ""Rounds for the Piano Forte, composed by Wm. Crotch.North End Fulham, begum July 25. 1816" and table of contents on the 1st page.		N-6/25	5	f.11/1	549	7
score 3p. 12 parts 13p. 22 x 29cm: obl.folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-5/2	2	p./11		8
14p. 34 x 25cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings "O clap your hands" Anthem in the autograph handwriting of Dr.Green, on the endpaper, written by unknown hand. On the 1st page, "In Dr. Green's own hand writing" written by unknown hand.		N-6/34	6	p.(s.o-6)		9

南英音楽文庫収蔵カミングス文庫「手写資料」目録

作曲家、著者 Composer, Author	表題、内容など Titles, Contents, etc.	資料の形態 Source type	年代 Dates
10 Greene, Maurice (1696-1755)	Ode "Descend ye Nine" performed at Cambridge, July 6th, 1730, originally composed in 1708.	Manuscript copy, score	18th c.
11 Greene, Maurice (1696-1755)	Ode for new year's day "Prepare! the circle forms" performed before the King at St. James, Jan.1st, 1741. for voices, etc.	Manuscript copy, incomplete, score	18th c.
12 Guglielmi, Pietro (1728-1804)	Cavatina "A quasi viltade e questa". Del Sigr. D.Pietro Guglielmi nella Debora e Sisara. In Napoli presso Luigi Marescalchi.	Manuscript copy, score	s.d.
13 Habermann, Franz Johann (1706-83)	Mass, C-major	Manuscript copy, score	s.d.
14 Habermann, Franz Johann (1706-83)	2 Missas [D-major, C-major (unfinished)]	Manuscript copy, score	s.d.
15 Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Works, vocal. Selection. Contents: "Comfort ye" (transposed to D, Messiah, part I); "Ev'ry valley" (Messiah, part I, transposed to D); "He shall feed His flock" (Messiah, part I, transposed to G); "Rejoice greatly, O daughter of Zion" (Messiah, part I, transposed to G); "He was despised" (Messiah, part II, transposed to G); "O thou that tellest" (Messiah, part I, transposed to A); "How beautiful are the feet of them" (Messiah, part II, transposed to C); "I know that my Redeemer liveth" (Messiah, part III); "The trumpet shall sound" (Messiah, part III); "If God is for us" (Messiah, part III); "Wise men flatt'ring" (Judas Macchabeus, part II); "See the conquering Hero" (Judas Macchabeus, part III); "Pow'ful guardians" (Alexander Balus, part III); "Come, divine inspire" (Joseph and His Brethren, part I); "The peasant tastes" (Joseph and His Brethren, part II); "What's sweeter than new blown rose" (Joseph and His Brethren, part III); "Constant Lover's never roving" (Hercules, part II); "Cease thy anguish" (Athalia, part II); "Smiling freedom, lovely guest" (Deborah, part II).	Manuscript copy, score, written by John Christopher Smith (1712-95).	18th c.
16 Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Athalia. Oratorio	Manuscript copy, score, written by John Christopher Smith (1712-95).	18th c.
17 Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	The King shall rejoice Anthem, composed for victory at Dettingen in the year 1743.	Manuscript copy, score, written by John Christopher Smith (1712-95).	18th c.
18 Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Muzio Scaevola (Incomplete) Filippo Amadei (fl.1690-1730), Act I. Giovanni Bononcini (1670-1747), Act II. Georg Friedrich Händel (1685-1759), Act III.	Manuscript copy, score	18th c.
19 Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Samson. Oratorio	Manuscript copy, score	18th c.
20	The Harmonicus companion or the psalm singers magazine being a different tune to each psalm in four parts viz. Cantus, contra-tenor, tenor and bass. Collected from Mr. Thomas Ravenscroft, and other, with several tunes never before publish'd, also sev'ral hymns and anthems. The wole work containing near 200: different tunes all done in before: the bass being figur'd makes it useful for instruments as well as the voice with two tables of the versions of Dr. Brady, Mr. Tate and Dr. Patrick, shewing what tunes may be sung to each of them. Collected by B: Smith. And corrected by Mr. P: Prelluer [i.e. Prelleur]. London printed by W.Pearson over against Wrights coffe-house in Aldersgate St., and sold by him and by the author, in Castle St. behind Shoreditch Church opposite the sign of the Plough. Price bound 3s.6d. in sheets 3s. 1732.	Manuscript copy of "The Harmonicus companion" by Richard Clark (1786-1856), score	1814
21 Hasse, Johann Adolf (1669-1783)	5 Arias Contents: "Non v'e più barbaro"; "Dal suo gentil sembiante" from the Opera "Il Demetrio"; "Scherza il nocchier tall'ora coll'aura"; "Pallido il sole" from the Opera "Artaserse"; "Deh respirar".	Manuscript copy, score	s.d. [18th c.]
22 Hasse, Johann Adolf (1669-1783)	I Pellegrini al Sepolchro di N[ostro]. S[ignore].	Manuscript copy, score, written by Dr. William Crotch (1775-1847), except for the last chorus.	19th c.

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録掲載ページ Page in the 1910 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue	
96p. 24 x 29cm: obl.8vo	Exlibris of W.H.Cummings On the endpaper, there is a note about M.Greene and the work, written by W.H.Cummings. Cummings wrote that this score was in the composer's own handwriting, but later crossed it out.		N-3/23	7	o.52/20		10
63 (39-40, 53-54 wanting) p. 25 x 30cm: obl.folio	On the reverse side of the front cover: Exlibris of W.H.Cummings "From the Rev. E. Goddard Collection" written by W.H.Cummings "Greene autograph" with red pencil by unknown hand On the 1st page are pasted notes transcribed from three newspaper (The Daily Post, The London Evening Post, The Daily Gazette) reports from the premiere.		N-3/22	7	o.52/21		11
63p. 20 x 26cm: obl.8vo	Exlibris of W.H.Cummings Signature of "Gos.Smith Napoli"	Bound with N-2/5(2)(3)	N-2/5(1)	7	o./33	767	12
60p. 30.2 x 24.2cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	In the 1925 catalogue, it is listed as "Three Missas. 2 vols" along with N-6/58.	N-6/106	9	o.52/16		13
88p. 28.5 x 23.0cm: 4to	Exlibris of W.H.Cummings Cummings mentions "By Habermann?" as the composer	In the 1925 catalogue, it is listed as "Three Missas. 2 vols" along with N-6/106.	N-6/58	10	o.52/16		14
166p. 24 x 30cm: obl.4to	On the endpaper: Exlibris of W.H.Cummings "This is an interesting copy of 'He was despised' showing that the 7th should be sharp in the modulation & dominant (see 4th bar page 41) in all printed copies it is flat - and some pretend it was so intended" written by W.H.Cummings. "The manuscript is in the autograph of Smith and belonged to William Jackson of Exeter, whose signature is on the fly leaf - Jackson who was born 1730 died 1803, Handel died in 1759" written by W.H.Cummings. Autograph signature of "W.Jackson" on the fly leaf, as W.H.Cummings pointed out.		N-3/3	7	o.1-2/26		15
216p. 44.0 x 28.8cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings At the end of the volume, there is an index sheet.		N-7/52	7	o.52/2	817	16
45p. 46 x 29cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/21	7	o.52/1	817	17
330p. 30.5 x 24.2cm: folio 1-155p.(Act.III) 157-237p.(Act.I) 238-330p.(Act.II)		See Amadei, F., Bononcini, G., "Muzio Scaevola," N-3/18	N-3/18	7	o.52/14	818	18
165(Act.I), 164(Act.III), 252 (Act.II)p. 24 x 30cm: obl.folio	Exlibris of W.H.Cummings on the each volume "Samson, an Oratorio. Composed in the year 1742 by G.F.Handel" written by W.H.Cummings on the N-3/4(1)	3 vols. N-3/4(1) Act I, N-3/4(2) Act.III, N-3/5 Act.II.	N-3/4(1), N-3/4(2), N-3/5	7	o.52/30	820	19
262p. 23 x 30cm: obl.8vo	Exlibris of W.H.Cummings Signature of Richard Clark. 1815.		N-3/20	8	p./9		20
54p. 18 x 22cm: 8vo	Exlibris of W.H.Cummings Table of contents, written by unknown hand on the endpaper.		N-1/17	8	o.12/38		21
96p. 25.1 x 31.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings On the endpaper: A note written by Dr. William Crotch about the manuscript's origins. "This vol. ( with the Exception of the last chorus) is in the autograph of Dr. W. Crotch. see page 84" written by W.H.Cummings. Commentary on the work probably written by Dr. W. Crotch. The title of the work by Dr. W. Crotch, "A great part of I Pellegrini al Sepolcro di N.S., Oratorio da cantani nella Regia Elettoral Cappella di Dresda, la sera del Venerdi Santo. Fu posto in musica dal Sigr. Gio. Adolfo Hasse."		N-3/19	8	o.52/22	844	22

南英音楽文庫収蔵カミングス文庫「手写資料」目録

作曲家、著者 Composer, Author	表題、内容など Titles, Contents, etc.	資料の形態 Source type	年代 Dates
23 Hatton, John Liptrott (1809-86)	A pastoral.	Autograph, score	19th c.
24 Hoffmeister, Franz Anton (1754-1812)	Sinfonia, A-major See Sinfonia di Mozart [C-major] op.57 [K.388]	Manuscript copy, score	s.d.
25 Hook, James (1746-1827)	Various songs with instrumental accompaniments Contents: "Sister Kate or Nod of your hand", August 11, 1812; "Hook or by Crook", April 15, 1812; "Do if you dare", June 1, 1812; "My Lady's Boat", June 30, 1812; "Absent Damon", s.d.; "I wish it well over", May 19, 1812; "Sweet Nanny", May 19, 1815; "English Bulls", June 21, 1821; "It grieves me much to pity thee", April 2, 1812; "Strephon of the Hill", May 26, 1815; "Stay a little longer", April 4, 1812; "I'd wed if I were not too young", June 27, 1815; "Annette or the Maid of the Cottage", May 31, 1812; "No! no! no!", April 15, 1812; "The Cockney", July 17, 1812; "Here and there over", April 3, 1812; Aria [Instrumental, incomplete] s.d.; Aria [Instrumental], september 2, 1812; "The pleasure of love", June 21, 1815; "Fox upon Bachelors", May 16, 1815; "Hunting Duett", July 16, 1815; "Time and love", April 11, 1812; "What can we poor women do", June 19, 1812; "The Birks of Aberfeldy", June 13, 1812; "Let him let him go", June 7, 1812; Lovers glee, Concerto [Instrumental, incomplete]; Anthem "Awake, awake, put on thy strength, o Zion" [Isaiah 52:1].	Autograph, score	19th c.
26 Hook, James (1746-1827)	Varieties, Sketch Book of James Hook.	Autograph, score	19th c.
27 Hook, James (1746-1827)	Hook's Catches, Glees and Canons.	Manuscript copy, score	19th c.
28 Hook, James (1746-1827)	Concerto, Clarinet, E-flat major [unfinished]	Autograph, score	August 4th, 1812
29 Hook, James (1746-1827)	Original varieties 1808 J. Hook [Collection of Keyboard music]	Autograph, score	1808
30 Hook, James (1746-1827)	Varieties, 1810. [Collection of Keyboard music]	Autograph, score	1810
31 Hook, James (1746-1827)	Varieties unpublished subjects etc, etc. [Collection of Keyboard music]	Autograph, score	s.d.
32 Hook, James (1746-1827)	Varieties. 13. Sept. 1808. [Collection of Keyboard music]	Autograph, score	September 13th, 1808
33 Lasso, Orlando de (1532-94)	A manuscript collection of motetts for 3 voices, Cantus Tenor, and Bassus, 3 vols.	Manuscript copy, parts	ca.1740
34 Leo, Leonardo (1694-1744)	Gloria patri.	Manuscript copy, score	s.d.
35 Loder, Edward James (1809-65)	Score of Overture to The "Night dancers" Opera by Edward Loder	Autograph, score	s.d.
36 Lotti, Antonio (1667-1740)	Duetti, terzetti, e madrigali à più voci. Consacrati alla Sacra Cesarea Real Maestà di Giuseppe I. Imperatere da Antonio Lotti Veneto. Organista della Ducale di S.Marco. in Venetia, M.DCCV. Appresso Antonio Bortoli. Con Licenza de' Superiori, e Privilegio.	Manuscript copy of the original printed book (Antonio Boltoli, 1705, Venezia), score	1705 Venezia
37 Millico, Giuseppe (1737-1802)	La Volontaria. Marcia a tre voci. Del D. Giuseppe Millico. In Napoli, presso Luigi Marescalchi.	Manuscript copy, score	s.d.
38 Millico, Giuseppe (1737-1802)	Duettino Marziale. Poesia dell'Eccmo Sigr. Principe di Campofranco. Musica del Sigr. D. Giuseppe Millico. In Napoli presso Luiji Marescalchi	Manuscript copy, score	18th c.
39 Millico, Giuseppe (1737-1802)	XIII ariette. A voce sola di soprano con arpa o cimbalo del Sigr. Giuseppe Millico	Manuscript copy, score	s.d.

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記1 Notes 1	注記2 Notes 2	請求記号 Call number	頁数 Page in the 1970 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue	
31p. 16.5 x 36cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings & his Signature "Hatton's autograph. Not published!" written by W.H.Cummings on the endpaper.	This handwritten score being accompanied by its edition ("Amintas and Amarillis, A Pastoral" by Robert Herrick, The Music composed for Soprano, contralto and tenor soli, with S.A.T.B. chorus and pianoforte accompaniment by John L.Hatton. Published by Hutchings & Co., London, [1888]).	N-7/23	8	o.51/5	845	23
42,38p. 35.2 x 23.1cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	The first half (1-42p.) of the manuscript contains Hoffmeister's symphony, and the second half (42-79p) Mozart's symphony.	N-4/11	8	m./2		24
292p. 16 x 22cm: obl.12mo	Exlibris of W.H.Cummings "This volume is entirely in the autograph of James Hook" written by W.H.Cummings.		N-1/20	8	o.52/37		25
92p. 11 x 15cm: obl.12mo	Exlibris of W.H.Cummings The title of the Ms. written by W.H.Cummings on the endpaper.		N-5/19	8	r./2		26
154p (The music sheet has 154 pages, 20 of which have music written on them, and a further 29 pages of music pasted into blank pages). 22 x 37cm: obl.folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-4/38	8	o./17	904	27
102p. 16.8 x 21.2cm: obl.12mo	Exlibris of W.H.Cummings "Full score, Concerto for the clarinet by James Hook. Autograph M.s. dated August 4.1812" written by W.H.Cummings on the endpaper. The library ownership Stamp of 南葵音楽図書館所蔵		N-1/21	8	r./4		28
86p. 14 x 24cm: obl.12mo	Exlibris of W.H.Cummings Signature of James Hook		N-1/13	9	r./3		29
90 (6 blank pages)p. 16 x 21cm: obl.8vo	Exlibris of W.H.Cummings "Composed by James Hook in his autograph" written by W.H.Cummings on the inside cover.		N-1/15	9	f.11/3	907	30
148p. 19 x 25cm: 24mo	Exlibris of W.H.Cummings "Composed by James Hook in his autograph" written by W.H.Cummings on the endpaper.		N-2/11	9			31
88p. 18 x 25cm: 24mo	Exlibris of W.H.Cummings "Composed by James Hook in his autograph" written by W.H.Cummings on the endpaper. Remarks on the front page, "All those marches with a Cross - are published" written by unknown hand.		N-2/1	9	r./5		32
54 (5 blank pages), 56 (4 blank pages), 52 (2 blank pages) p. 12 x 22cm: obl.24mo"	Exlibris of W.H.Cummings on each volumes. Cut off from unknown auction catalogue.	3 vols.	N-1/14	9	o.31/39	977	33
32p. 30 x 23cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings "Composed by Leonardo Leo" written by Cummings on the endpaper.		N-6/54	9	o.52/15		34
56p. 37 x 23cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/29	9	m./1	1004	35
210p. 26.5 x 34.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-4/29	9	o.0/7	1010	36
56p.	Signature of "Gos. Smith"	Bound with N-2/5(1)(3)	N-2/5(2)	7			37
5p.	Signature of "Gos. Smith" on the title page	Bound with N-2/14(1)(3)	N-2/14(2)	3	o.1-5/36		38
26p. 22 x 30cm: obl.folio	Exlibris of W.H.Cummings	Advertisement for the seller of the paper used in this score, "Vendesi da Gio. Chiari Rigatore de carta da musica nella condotta in Firenze."	N-5/21	10	o.11/31		39

南英音楽文庫収蔵カミングス文庫「手写資料」目録

作曲家、著者 Composer, Author	表題、内容など Titles, Contents, etc.	資料の形態 Source type	年代 Dates
40 Mozart, Wolfgang Amadeus (1756-91)	Sinfonia, C-major op. 57 (K.338) See Hoffmeister, N-4/11	Manuscript copy, score	
41 Muffat, George (1653-1704)	Five sonatas for the violin.	Manuscript copy, score	1864
42 Paisiello, Giovanni (1740-1816)	Coro "Cantiam Nina cantiamo". Del Sigr. D. Giovanni Paiseillo nella Pazza per amore. In Napoli presso Luigi Marescalchi.	Manuscript copy, score	s.d.
43 Paisiello, Giovanni (1740-1816)	Quartetto. Del Sigr. D. Giovanni Paisiello. Opera di Nana. In Napoli presso Luigi Marescalchi	Manuscript copy, score	18th c.
44 Pepusch, John Christopher (1667-1752)	Eight solos or sonatas, for a violin, a bass-viol or harpsichord. Composed for Mr. Jhon Hamilton by Mr. John Christopher Pepusch	Autograph, score	Probably 1713
45 Porpora, Nicola (1686-1768)	Arie del'Opera di Mitridate nel carnevale 1730, Roma.	Manuscript copy, score	18th c.
46 Porpora, Nicola (1686-1768)	Arie del'Opera dii Siface nel carnevale 1730, Roma.	Manuscript copy, score	18th c.
47 Purcell, Henry (1659-95)	Dido and Aenens.	Manuscript copy, score No.1 "Overture", no.2 "Shake the cloud from off your brow" & no.3 "Grief increases" are copied from Macfarren's 1841 edition.	Any later than 1774
48 Purcell, Henry (1659-95)	The Vocal and Instrumental Music of The Indian Queen. Composed by Henry Purcell.	Manuscript copy, score	s.d.
49 Purcell, Henry (1659-95)	Ten sonatas in four parts, for 2 violins and bass, bass parts. Violino primo, violino secondo, Double bass or basson (Thorough bass) and Bass parts of Sonata II [E-flat major, Z.803] Bass part of Sonata I [D major, Z.802]	Manuscript copy, parts	s.d.
50 Purcell, Henry (1659-95)	XII Sonata's of III parts: Two Violins and Basses: To the Organ, or Harpsichord. & Composd by Henry Purcell. Composer in ordinary to his most Sacred Majesty, and Organist of his Chapell Royall, London 1683. Parts for Violino primo and Basso continuo et Organo	Manuscript copy, parts	s.d.
51 Purcell, Henry (1659-95)	The Tempest (Act2-5)	Manuscript copy, score	18th c.
52 Purcell, Henry (1659-95)	An ode performed upon the Duke of Gloucester's birthday. Composed by Henry Purcell [1695].	Manuscript copy by W.H.Cummings, score	1844
53 Purcell, Henry (1659-95)	A Song for 3 voices "With this sacred charming wand" A Song for Montesmo an Inchanter & Mellisa & Urganda Inchantresses. By Purcell the Great. [Don Quixote, Act V. scene 2]	Mnuscript copy by S.Wesley, score	19th c.
54 Ravenscroft, Thomas (1588c-1635)	Collection of the manuscript copy of "Pammelia Musick's Miscellanie" (1609) by Thomas Ravenscroft Contents: "O Lord of whom I do depend"; "Attend my people and give eare"; "O Lord in theeis all my trust"; "O Lord turne not away"; "A Dieu seul foitbonneur"; "Celebrous fans cesse de"; "Sanct escription te"; "Donec aboire"; "As I me walked in a May"; "The white henne the cackles"; "The winde blowes out"; "lacke boy, ho boy"; "Blow thy horne thou jolly"; "Banbery Ale"; "A miller, a miller, a miller"; "Birch and greene holly"; "The lark, linet and nightingale"; "Trole trole the bole"; "Farewell mine owne"; "Now, Robin lend"; "Musing mine owne selfe"; "Ancient round: To Portsmouth"; "Come drinke to me"; "Lets have a peale"; "Sing we this roundelay"; "Ut re mi fa mi re ut"; "Lady come downe" (This should be written as a catch); "Love sweet love"; "Sing after fellows"; That's all from "Pammelia" composed by Thomas Ravenscroft; Lawes, Henry: "Wee's au be"; Stonard, Mr. [William]: "Ding, ding, ding, dong bell"; Akeroyde, Sam[uel]: "Once thumbing as I lay"; Barret, Mr. John: "When Celia does her scorn dispence"; Hilton, John: "Come let us all a Maying"; Blow, Dr. Jo[h]n: Catch upon nothing "Sing merrily now my lads".	Manuscript copy, score	17th c. (1650ca.)

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記1 Notes 1	注記2 Notes 2	請求記号 Call number	新編目録ページ Page in the 1970 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue	
		The second half (42-79p) of the manuscript N-4/11	N-4/11	8	m./2		40
32p. 28 x 38cm: obl.folio	Exlibris of W.H.Cummings Manuscript copy by Dr. Grandaur, with his explanatory notes, dated March 3rd, 1864. A English translation on 2 separate sheets.	The 5th sonata has only the 1st movement.	N-7/30	10	h.11/4		41
47p.	Signature of "Gos. Smith Napoli"	Bound with N-2/5(1)(2)	N-2/5(3)	7	o.52/33		42
75p.	Signature of "Gos. Smith" on the title page	Bound with N-2/14(1)(2)	N-2/14(3)	3	o.1-5/36		43
31p. 34 x 23.8cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Remarks by Thomas William Taphouse, "Having composed this with an original manuscript of Dr. Pepusch's in possession vouched to be authentic by Dr. Alcock in 1763. I am of opinion that this collection of Sonatas is in the Dr.'s handwriting & were written by him previous to taking his degree at Oxford in 1713."		N-6/63	10	h.11/1	1235	44
79p. 21 x 29cm: obl.4to	Exlibris of W.H.Cummings Signature of G[eorge] T[ownshend] Smith and a note saying that his father gave him the score as a gift in March, 3rd, 1830. Description of the work and its owner, G.T. Smith's, background, written by W.H.Cummings.		N-2/2(1)	10	o.52/35		45
108p. 21 x 28.5cm: ol.4to	Exlibris of W.H.Cummings Signature of G[eorge] T[ownshend] Smith and a note saying that his father gave him the score as a gift in March, 3rd, 1830. Description of the work and its owner, G.T. Smith's, background, written by W.H.Cummings.		N-2/2(2)	10	o.52/35		46
79 [ie.158]p. 31.6 x 25.6cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings and his signature Signature of "John C. Jackson, Dec 17.1877" and remarks by W.H.Cummings "This M.S. of Purcell's Dido & Aeneas is very curious and valuable, containing music which is wanting in the edition published by the Musical Antiquarian Society, and the many variation & differences from the latter copy conclusively show by their superiority that they are authentic. Moreover they are frequently corroborated by a M.S. of Dido & Aeneas in the handwriting of Travers, now in the Library of Sir F.A.G. Ousely at Tenbury" on the inside cover.		N-4/41	10	o.5/12	1388	47
103p. 24.6 x 31.1cm: obl.folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/65	10	o.5/19	1392?	48
4, 4, 5p. 30 x 24cm: 4to		3 parts see N-2/15(3) in "The Catalogue of Printed Music in the Collection of W.H.Cummings"	N-6/68	10	h.31/3		49
32, 28p. 29.5 x 23.5cm: 4to	Exlibris of W.H.Cummings in each parts	2 parts	N-6/70	10	h.31/5	1362	50
101p. 24 x 29cm: obl.4to	Exlibris of W.H.Cummings The library ownership Stamp of 南葵音楽図書館所蔵		N-6/71	10	o.0/16		51
31p. 25 x 30cm: obl.8vo	Exlibris and signature of W.H.Cummings, dated August 21st. 1852. "Purcell, H. Ode on the Duke of Gloucester's Birthday AD1695 written by V. Novello" on the inside cover written by W.H.Cummings. "This Score was made from the Copy in Purcell's own hand writing in the possession of V.Novello. I have now presented the original Ms.S to the Library of the Musical Antiquarian Society, with a view to the publication of collection of Purcell's odes, 1844" on the title page by Vincent Novello.	Bound with N-6/72(2)	N-6/72(1)	10	o.1-3/24	1392	52
23p.	"Song for 3 voices "With this sacred charming wand" written by S.Wesley" on the inside cover written by W.H.Cummings	Bound with N-6/72(1)	N-6/72(2)	11	o.1-3/24	1392	53
58p. 11 x 21cm: obl. 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Note, written by W.H.Cummings, "This collection is chiefly taken from 'Pammelis Musick's Miscellanie', published by Thomas Ravenscroft in 1609." Illegible signature and his note on the inner cover, "Written about the year 1650. From [James] Halliwell's sale, 23 May 1857."	"Song of cuckoo, 6 etc. Written about the year 1650" in the 1970 catalogue	N-5/28	53	o.51/40		54

南英音楽文庫収蔵カミングス文庫「手写資料」目録

作曲家、著者 Composer, Author	表題、内容など Titles, Contents, etc.	資料の形態 Source type	年代 Dates
55 Reading, John (1677-1764)	Voluntarys for the organ. By John Reading. 1737.	Autograph, score	1737
56 Russell, William (1777-1813)	Redemption of Israel.	Autograph, score	ca.1810
57 Saint-d'Arod, Prosper (1814-87)	Fragment de symphonie héroïque.par Prosper, Sain d'Arod, compositeur spécial de musique religieuse et maitre de Chapelle honoraire des Roi de Sardaigne.	Probably autograph, incomplete score	19th c.
58 Salomon, Johann Peter (1745-1815)	Windsor castle. Performed at Coventgarden Theatre in (6, April) 1795 in honour of the Naptial of His Royal Highness the Prince & Princess of Wales.	Autograph, score	18th c
59 Sharp, William (1729-1810)	Messiah. A Christ-mass song. 2vols.	Autograph, score	19th c.
60 Smith, John Christopher (1712-95)	The compositions of J. C. Smith. Contents: "Peche l'altrui misura"; "Non adegnavti a te mi fido"; "No non vendrete mai"; "Mi seacci adegnavto mi agridi"; "Torna innocente"; "Per quell' affetto"; "Fra cento affanni"; "T' intendo ingrata"; "Misero pargoletto"; "Vo soicando un mar crudele"; "Padre perdona"; "O Lord God to whom vengeance belongeth"; "Let God arise & let his enemies be scatter'd"; "Hearken unto my voice, O Lord"; "Have mercy upon me O Lord"; "Out of the deep have I called unto thee O Lord"; "Behold how good and joyful a thing it is"; "Sing praise unto the Lord"; "As pants the hart".	Manuscript copy (many of them in the autograph) , score	18th c.
61 Spohr, Louis (1784-1859)	Second concertante duett, op.88. For 2 violins with full orchestra.	Manuscript copy, score	19th c.
62 Steffani, Agostino (1653-1728)	Duetti dello Steffani. Canto e alto [with Bass accompaniment].	Manuscript copy, score	18th c.
63 Iye, Christopher (c.1505-c.72)	The first chapter of the actes of the Apostles, translated and set to musicke.	Manuscript copy, score	17th c.
64 Valtou, (Mr.)	Six songs set to music by Mr. Valtou 1763. not yet printed.	Manuscript copy, score	1763
65 Vinci, Leonardo (1690-1730)	Arie del'opera d'Artasserse nel carneval 1730, Roma.	Manuscript copy, score	18th c.
66 Weber, Carl Maria von (1786-1826)"	Ouverture to Euryanthe by C.M.von Weber	Manuscript copy, score	19th c.
67 Weber, Carl Maria von (1786-1826)	Der Freyschiütz. Romantische Opera in 3 Acten Musick von Carl Maria v. Weber as performed in German and as adapted for the English Stage & performed at the Theatre Royal Drury Lane.	Manuscript copy, score	19th c.
68	Collection, "A curious old cathedral part book, with an anthem in Purcell's autograph" Contents: Blow, Mr. [John]: "The Kings' of Tharsis" (Ps.72:10); Humphry, [Pelham]: "O give thanks" (Ps.118); Humfris, Mr. Pel[ham]: "Thou art my God and I will thanks you"; Humfris, Mr. Pel[ham]: "Thou art my King O God" (Ps.44:4); Blow, Mr.Jo[h]n: "When Israel" (Ps.114); Humfris, Mr. Pel[ham]: "The King shall rejoice" (Ps.21); Humfris, Mr. Pel[ham]: "Heare my crying O God" (ps.61); Blow, Mr. John: "And I heard a great voice" (Revelation 19); P[elham] H [umfrey], W[illiam] T[ucker], I[ohn] B[low]: "I will always give thanks" (Ps.34); Blow, Jo[h]n: "Arise O Lord" (Ps.132:8); Humfries, Mr. Pel[ham]: "By the water of Babilon" (Ps.137); Turner, Mr. Willi[am]: "O praise the Lord" (Ps.147); Humfris, Mr. Pel[ham]: "Hast thee O God" (Ps.70); Lock[e], Mr. [Matthew]: "O clap your hands" (Ps.47); Lock[e], Mr. [Matthew]: "God is gon[e] up" (Ps.17); Blow, Mr. [John]: "Sing we merrily"; Turner, Mr. [William]: "Hold not thy tongue O God"; Humfris, Mr. Pel[ham]: "Rejoice in the Lord" (Ps.33); Blow, Mr. Jo[h]n: "I behold & lo a great multitude" [Revelation 7:9]; Blow, Mr. Jo[h]n: "The Lord is my Shepherd" (Ps.23); Purcell, Mr. Hen[ry]: "If the Lord himselfe" (Ps.124); Locke, Mat[thew]: "God reigneth"; Purcell, Mr. Henry: "Praise ye [the] Lord, ye servants" (Ps.113); Tudway, Tho[mas]: "O come let us sing" [text only]; Purcell, Mr. [Henry]: "Sing unto the Lord, ye kingdoms of the earth" [Ps.68:32] Autograph; Turner, Mr. [William]: "Halleluiah, halleluiah, halleluiah"; Blow, J[oh]n: "The Lord even the most mighty God" (Ps.50); Tucker, [William]: "Lord, how long"; Child, Dr. [William]: "O sing unto the Lord"; Purcell, Mr. [Henry]: "Great God"; Tucker, Mr. [William]: "I was glad"; Wise, Mr. [Michael]: "O praise God in his holyness"; Blow, Dr. [John]: "O Lord I have sinned"; Humfris, Mr. Pel[ham]: "Have mercy upon me"; Aldrichy, Dr. [Henry]: "O give thanks"; [Purcell, Henry]: "We are his people", Autograph.	Manuscript copy, partly autograph, part book for the bass part	17th c.

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記1 Notes 1	注記2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録ページ Page in the 1970 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1929 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue	
105p. 25 x 34cm: obl.8vo	Exlibris of W.H.Cummings Writing on the back of the cover, "This Book I give for the Use of the Children of his Majestys Chapels Royal As Witness my Hand May the 7th 1750. John Buswell for John Reading Organist. James Street Westminster" A note by unknown hand (name illegible) about the composer on the inside page, "John Reading Organist of Parishes of St. Mary Woolnoth & St. Mary Woolchurch Haw in Lombard Street & of St. Dunstan's in the West in Fleet Street London"		N-4/31	11	g.11/2	1418	55
80p. 24 x 29cm: obl.8vo	Exlibris of W.H.Cummings		N-3/32	11	o.52/29		56
52p. 34 x 26.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/77	11	m./3	1491	57
212p. 31.9 x 26.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-3/17	11	o.5/13	1499	58
81p. 33 x 20.5cm: folio (N-3/30)	Exlibris of W.H.Cummings in both volumes		N-3/30	11	o.52/9-a	1539	59
103p. 33 x 20.5cm: folio (N-3/31)	Exlibris of "Messrs. Sharp" and autograph signature of "Wm. Sharp"		N-3/31		o.52/9-b		
200p (23 blank pages). 24 x 30cm: obl.4to	Exlibris of W.H.Cummings Handwritten table of contents, with annotations by W.H.Cummings, on the front endpaper.		N-3/24	11	o.0/27	1565	60
164p. 30.2 x 24.2cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/91	12	h.22/2		61
68p. 22 x 30cm: obl.folio	Exlibris of W.H.Cummings A quotation (source unknown) by the previous owner (name illegible) about the composer and the work, along with a note about how he came into possession of the score.		N-3/25	12	o.21/34	1491	62
65p. 16.3 x 20.5cm: 12mo	Exlibris of W.H.Cummings The previous owner's name "Henry Tyler, His Book" (presumably his signature) being written twice on the inside of the front cover and nine times on the inside of the back cover.		N-1/16	12	p./13	1665	63
19p. 24 x 30cm: obl.4to	Exlibris of W.H.Cummings A piece of paper about the composer being pasted to the inside of the cover.		N-6/95	12	o.11/25	0863	64
96p. 21 x 29cm: obl.4to	Exlibris of W.H.Cummings Signature of G[eorge] T[ownshend] Smith and a note saying that his father gave him the score as a gift in March, 3rd, 1830. Description of the work and its owner, G.T. Smith's, background."		N-2/3	12	o.52/35	1684	65
37p. 24 x 30cm: obl.4to	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/99	12	m./4		66
528p. 24.9 x 31.2cm: obl.4to	Exlibris of W.H.Cummings		N-3/38	12	o.52/23		67
37p. 18.6 x 23.6cm: obl.12mo	Exlibris of W.H.Cummings Index of contents, written by W.H.Cummings, on the front endpaper. A bass part that was lost from a collection of anthems probably kept in the Chapel Royal of King Charles I of England.	"A curious old cathedral part book" in the 1970 catalogue	N-5/10	5	p./12		68

南英音楽文庫収蔵カミングス文庫「手写資料」目録

作曲家、著者 Composer, Author	表題、内容など Titles, Contents, etc.	資料の形態 Source type	年代 Dates
69	Collection, "Anthems in score" Contents, according to the index written on the 1v: Bird, Mr. [William]: "Be not wrath"; Aldrich, Rev. Dr. [Henry]: "God is our hope and strength"; Aldrich, [Henry]: "Behold now praise ye Lord"; Tallis, Mr. [Thomas]: "All people"; Palestrina, Sigr. [Pierluigi da]: "We have heard with our ears"; Anonymus: "Why art thou so vexed"; Anonymus: "My heart is fixed"; Anonymus: "The eye of ye Lord"; Aldrich, [Henry]: "O God ye King of glory"; Anonymus: "Hold not thy tongue O God"; King Henry ye 8th: "O Lord ye maker of all things"; Farrant, Mr. [John?]: "Hide not thou thy face"; Farrant, Mr. [John?]: "By ye waters of Babylon"; Farrant, Mr. [John?]: "Call to remembrance"; Child, [Dr. William]: "Praise ye Lord O my Soul"; Rogers, Dr. [Benjamin]: "O pray for ye peace of Jerusalem"; Aldrich, Dr. [Henry]: "Out of the deep"; Aldrich, Dr. [Henry]: "I praise ye Lord"; Anonymus: "Give ear O Lord"; Tallis, Mr. [Thomas]: "I call and cry"; Tallis, Tho[mas]: "With all our hearts and mouths"; Anonymus: "I look for the Lord"; Blow, [John]: "I will magnify thee O God"; Anonymus: "O Lord rebuke me not"; Blow, Dr. [John]: "My God my soul is vexed"; Purcell, [Henry]: "O God thou hast cast us out"; Blow, Dr. [John]: "O God wherefore art you absent"; Bird, Mr. [William]: "Sing joyfully"; Church, [John?]: "Righteous art thou".	Manuscript copy, score	18th c.
70	Collection, "Anthems early manuscripts" Book 1. Bird, Mr. [William]: "O Lord turn thy wrath a way from us", 1st part. Book 2. Marenzio, Luca: "dissi a l'amata", published by [Thomas] Oliphant as "Lady see on every side" (by W.H.Cummings); Marenzio, Luca: "Sweet singing Amarillis" (orig[inal] word "Cantava"); Marenzio, Luca: "Alas, where is my love" (orig[inal] words "Ohime dou' elmia ben"). Book 3. "O Lord the maker of all things", composed by King Henry the 8th. Book 4. Autograph of Henry Aldrich? Carissimi, [Giacomo]: "I am well pleas'd" adapted words by Dr. [Henry] Aldrich; Humphrys, [Pelham]: "Lord teach us to number our days"; Wise, [Michael]: "The ways of Sion do mourn". Book 5. Croft, [William]: "The Earth is the Lords". Book 6. Croft, [William]: "Out of thee deep". Book 7. Dr. Bull, [John]: "O Lord my God I will Exalt thee". Book 8. Aldrich, Dr. [Henry]: "O praise ye Lord all ye eath"; Tallis, Mr. [Thomas]: "All people that on earth". Book 9. Holman, George: "Arise and shine, O Daughter", A Thanksgiving anthem for the Union of England and Scotland AD 1706".	Manuscript copy, comprising from originally 9 separate books, score	18th c.
71	Collection, "Church services" Contents: Creighton, [Robert]: Te Deum, Jubilate, Magnificat, Nunc dimittis; Bishop, [Henry]: Te Deum & Jubilate, Benedictus, Cantate Domino, Deus misereatur; Fussel, [?]: Cantate Domino, Deus misereatur; Cooke, R.: Magnificat, Nunc dimittis; Croft, [William]: Te Deum, Jubilate.	Manuscript copy, score	19th c.
72	Collection, "Duetts, trios, madrigals, etc. in score" Contents: Purcell, [Henry]: A two part song in King Arthur, "Two daughters of this aged stream"; Purcell, [Henry]: The conjurous song in the Indian Queen "Ye twice ten hundred deities"; [Purcell, Henry]: "Hark my Daridcar", Orpheus Britannicus, vol.1-p.148; [Purcell, Henry]: "But ah! how much are our delights", Orpheus Britannicus, vol.2-p.82; Forcer, Fran[cis]: Chorus for 3 voices from Abdelazer, "Come Galatea haste away"; [Purcell, Henry]: A single song in Oedipus, "Musick, for a while", Orpheus Britannicus, vol.2-p.126; [Purcell, Henry]: "Let Caesar and Urania live", Orpheus Britannicus, vol.1-p.203; [Purcell, Henry]: "O let me weep", Orpheus Britannicus, vol.1-p.194; Bateson, [Thomas]: "Your skining eyes", madrigal.; Morley, [Thomas]: "Where art ye", canzonet; Worgan, [John?]: "A great God of sleep", trio; Worgan, [John?]: "Bacchus to arms", trio; Morley, [Thomas]: "Lady those eyes", canzonet; Boyce, [William]: "Tis on earth the greatest blessing", trio; Purcell, [Henry]: "My son shall be always"; Morley, [Thomas]: "I will lay me"; Byrd, [William]: "Civitas sancte tui", Sac[rae] Cant[iones]; Steffani, [Agostino]: "Forma un mare in pianto mio"; Steffani, [Agostino]: "Gelosia che vuoi da me?"; Steffani, [Agostino]: "Soavissime catene"; Handel, [George Frederic]: "L'ocasso ha nell'aurora", trio; Handel, [George Frederic]: "Che vai pensando", Handel, [George Frederic]: "A chi spera, o luci amate"; Handel, [George Frederic]: "Quando non ho piu core", trio.; "The four following Madrigals were composed by John Bennett and (with others) published by him in 1599": "I wander up and down", "Mourn silly soul", "Thirsis sleepest thou", "Ye restless thoughts"; Marenzio, Luca: "Dissi a l'amata mia lucida stella"; Morley, [Thomas]: "Lo in the break of morning", canzonet; Morley, Tho[mas]: "Sweet Nymph come to thy lover", canzonet; Prenestino, Lui[gi] Pietro (i.e. Palestrina, Giovanni Pierluigi da): from a collection published at Rome in 1594. "Exaltabo te Domine," motetto; Handel, [George Frederic]: "Amirarvi io sono"; Handel, [George Frederic]: "Va speme infilda purva"; Roseingrave, [Thomas]: "Lord let me know", anthem.; Roseingrave, [Thomas]: "Tell me lovely charmer", air.	Manuscript copy, score	18th c.
73	Collection, "Five [i.e. Six] favorite Italian opera songs in score" Contents: Sacchini, Anto[nio]: "Se il caro bene"; Sacchini, Anto[nio]: "Dov'e s'affretti" con violini, viola, è basso; Gazzanigna, Giuseppi: "Sento un affanno impetto" con violini, oboè, corni, viola, è basso; Sarti, Giuseppe: "Da quel gentil sembante" (from "Ifigenia" performed in Teatro Argentina 1777); Naumann, Amadeo: "Se mai vedi" ...in Venezia, Teatro di S.Benedetto il Carnevale dell'anno 1773 (printed); Sacchini, Antonio: "Se alla bromio."	Manuscript copy, partly printed, score	18th c.

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記1 Notes 1	注記2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重目録ページ Page in the 1970 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue	
141p.(p.109-110 wanting) 39.7 x 26cm: large folio	Exlibris of W.H.Cummings In the insidcover, the signature of "Richard Church," presumably the previous owner. On the back side of the front cover, is attached an autograph (fragment) of John Blow, end of an anthem of 5 parts with the words "Alleluja to the Almighty Kind" with signature "Jo: Blow Decem ye 15th 1683." On the 1v. stands index written by unknown hand.	"Anthem in score" in the 1970 catalogue	N-7/1	2	p./2	24	69
39 x 27cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings 9 books originally written separately are bound together.	"Anthems early manuscripts" in the 1970 catalogue	N-4/40	2	p./3		70
131p. 35 x 25.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Index of contents on the front endpaper, written by unknown hand.	"Church services by Creighton, Bishop, Fussel, R.Cooke and Croft, neat M.s. score" in the 1970 catalogue	N-4/30	3	p./5	447	71
149p. 33 x 21.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Signature of "T.Twining, 1769" List of composers' names on the front endpaper, written by probably T. Twining.	"Duetts, trios, madrigals, canzonets etc. in score" in the 1970 catalogue	N-3/26	5	o.0/11		72
78p. 23 x 30cm: obl.8vo	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Robert Smith	"Five [i.e. Six] favorite Italian opera songs in score" in the 1970 catalogue	N-3/28	6	o.52/32		73

南英音楽文庫収蔵カミングス文庫「手写資料」目録

作曲家、著者 Composer, Author	表題、内容など Titles, Contents, etc.	資料の形態 Source type	年代 Dates
74	<p>Collection, "Glees, catches, etc. by various composers, original autograph compositions"            Contents: Stevens, R.I.S.: "It was a lover" (glee, 5v., This gained a prize 1786), autograph of the composer; Stevens, R.I.S.: "Love in her sunny eyes" (madrigal, 4v.), autograph of the composer; Giardani, Felice: "Che pena ch' affanna le vassi" (round, 3v.), autograph; Mellish, Esq.: "Drink to me only with thine eyes" (glee, 3v.); Aleack, Dr.: "We'll drink and we'll never have done boys" (glee, 4v.); Hayes, Dr.: "Lets drink, and lets sing together" (canon, 4.); Webbe, Samuel: "See! see! see from afar" (catch, 5v.); Webbe, Samuel: "The mighty conqueror of hearts" (glee, 4v., incomplete); Purcell, Henry: "Pale faces stand" (catch, 3v.); Anonymus: "We be soldiers three pardonne moi" (partsong, 3v., publish'd 1614); Corfe, James: "Tis love and harmony" (glee, 3v.); Anonymus: The politicians, "The news is bad" (catch, 3v.); Anonymus: "Three masters of musich once could no agree" (catch, 3v.); Anonymus: "To Bacchus and Apollo" (glee, 5v.); Anonymus: "That the mortal" (catch, 3v.); Anonymus: Upon the old toast, peace, plenty and good neighbourhood, "Now peace has sheath'd the bloody sword" (catch, 4v.); Anonymus: "Give me care's antidote" (catch, 3v.); Baildon: The debate, "Mr. Speaker" (catch, 3v.); Anonymus: "Beviamo amici beviamo" (catch, 3v.); Anonymus: "Se mai turbo" (catch, 3v.); Anonymus: "Infedel questo è l'amore" (catch, 3v.); Bates?: "Lye on while me revenge" (canon, 3v.), dated Jan. 28, 1770; Bates?: "Make a new world" (canon, 3v.), dated Jan. 28, 1770; Bates?: "It grieves me" (catch, 4v.); Anonymus: "I envy not however great" (catch, 4v.); Anonymus: "Had those who've philosophy" (catch, 3v.); Cooke?, M.: The rival candidates, "Webbe, Danby and Stevens" (catch, 3v.); Cooke?, M.: "Island of Bliss" (glee, 3v., the words from Thousand Seasons); Cooke?, M.: "While we pass the welcome night" (glee, 3v.); Anonymus: "Sweetly breathing vernal air" (glee, 5v.); Pring, I.C.: "Thyrsis who feedes" (glee, 5v.); Anonymus: "O harp" (glee, 4v., the words from Jone's Welsh Bards), a candidate for the prize medal, 1789); Anonymus: "Ye beauteous Nymphs" (glee, 5v.); Anonymus: "When spring returns" (glee, 4v.), Dec. 1, 1785; Anonymus: "Here I Thomas Wharton" (glee, 4v.); Anonymus: "Underneath this stone" (glee, 4v.); Anonymus: "In Paracletes sequester'd" (Glee, 3v.); Anonymus: "Lord in thee" (canon, 4v.); Anonymus: "Love Lord, hear us O King of Heaven" (canon, 3v.); Anonymus: "My soul doth magnify" (canon, 3v.); Berg?: "Hosanna shout the heav'nly host on high" (canon, 4v.); Anonymus: "Gloria in exelsis Deo" (canon, 4v.); Anonymus: "Sing me merrily" (canon, 3v.); Anonymus: "Remember not O Lord" (canon, 5v.); Anonymus: "O come let us sing unto the Lord" (canon, 3v.); Anonymus: "Non nobis Domine" (canon, 3v.), Philo Harmonicus, January 16, 1769, from Fyrrells Coffee House Dublin; Anonymus: "O Lord I will praise thee" (canon, 4v.); Anonymus: "Let the people praise" (canon, 4v.); Anonymus: "Haste thee O Lord" (canon, 3v.); Anonymus: "I will be glad" (canon, 4v.); Anonymus: "Day by day we magnify Thee" (canon, 3v.); Anonymus: "All the Kings of the Earth shall praise" (canon, 3v.); Parker, W[illiam?] Rev.: "Then blessed be thy hloly name" (canon, 4v.), handwriting of the Rev. W. Parker, Minor Canon of St. Pauls; Byrd, Gulielmus (i.e. William): "O quam gloriosum est regnum" (motet, 5v., 1589), Warren's handwriting; Colmar, C.: The catch of animals and birds, "I am master of forte piano" (catch, 5v.); Anonymus: "God said let them be light" (canon, 3v.); Wert, Giaches de: "Queste non son piu lagrime" (madrigal, 6v.), Brought in by Mr. Galliard [John Ernst Galliard?], 1731 as manager. Del Quinto libro de madrigali a 5v. di Giaches de Wert, stamp a Venet, 1580. de la Bibliothek de Dr. Pepusch no.17; Wert, Giaches de: "Solo e pensoso" (madrigal, 5v.), De la Bibliothek de Dr. Pepusch no.17. nel settimo libro de madrigali a 5 voci di Giaches de Wert. Stampat in Venet, 1581. Commentary taken from Zacconi, Pratica di musica (1592), libr.1, chap.54, p.49; Marenzio, Luca: "Gia torna" (mdrigal, 5v.) the madrigal from which S. Taylor copied; Anonymus: Magnificat, "My soul doth magnify the Lord" (service, 5v.); Marchesi di Lignivilla: "Non piu troverse" (glee, 4v.); Cooke, Mat [thew]: The deserted pelican, "The pelican whose fond parental breast" (madrigal, 5v.). A madrigal in imitation of "The silver swan" by Ori[ando] Gibbons."</p>	Manuscript copy, partly autograph, score	1763-94
75	<p>Collection, "Scene di Paisillo, Cimarosa &amp; etc."            Contents: Martini, Vincenzo: Duetto "L'arbóre di Diana"; Paisiello, Giovanni: Duettino "Abbaracciami o sposo con Recitat" nell' Elfrida [1792]; Palma, Silvestro: Cavatina "Ho un Cor si tenerello" Teatro Valle-Carnovale, 1792; Zingarelli, Nicola: Duettino "Mia speranza amato bene"; Paisiello, Giovanni: Duetto serio "Credi... La mia serita, con Recitativo" nell' Elfrida [1792]; Borghi, Pio Batta: Duetto "Ombra temuta, e cara"; Cimarosa, Domenico: Cavatina "La donna, che amante"; Millico, [Giuseppe]: Canzocina "Volle cogliere una rosa" per arpa; Nasolini, Sebastiano: Cavatina "Cessi omai L'applanso il canto" nella Semiramide, Teatro Argentina, 1792.</p>	Manuscript copy, score	18th c.
76	<p>Collection, "Various songs and instrumental pieces"            Contents (from the front side):            Purcell, [Henry]: "Dulci bella"; Purcell, [Henry]: "When Tencor"; Purcell, [Henry]: "For love ev'ry creatice"; Purcell, [Henry]: "As soon as ye chaos"; Hawkins, [James]: "Welcome Thrico welcome"; Purcell, [Henry]: "Lost is my quiet"; Purcell, [Henry]: "For folded flockes"; Purcell, [Henry]: "Leave these useless arts"; Purcell, [Henry], Mr. Dan: "My dearest my fairest"; Blow, [John]: "Go Perjur'd man"; Purcell, [Henry]: "Fair Cloë my breast so alarms"; Purcel, [Henry]: "Come let us leave ye town".             Contents (from the back side):            Weldon, [John]: "O Lord rebuke me not"; Aldrich, [Henry]: "O Lord I have heard thy voice"; Croft, [William]: "The earth is ye Lord's"; Croft, [William]: "Turn thee unto me, O Lord"; Gibbons, [Christopher]: "Behold thou hast".</p>	Manuscript copy, score	18th c.
<p>No farther mention is made concerning composers and pieces of music on the following pages but they contain a large number of catches and glees seemingly out of the 17th and 18th centuries.</p>			

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記1 Notes 1	注記2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重目録掲載ページ Page in the 1970 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue
[256]p. 25 x 31cm: obl.4to	Exlibris and signature of W.H.Cummings "from sale of T.Oliphant's library, Ap. 25. 1873" written by W.H.Cummings A clipping from the auction catalog of Oliphant's library sale (No.556). Bookbinding company seal of "Bound by J.Rowbotham, Indian Rubber, 10 Castle Street East, Oxford Street" A folded piece of paper with the table of contents written on it is pasted onto the front endpaper. Some song has a comment by Thomas Oliphant, written in pencil. Description of the volume on the back of the front endpaper, probably written by Th. Oliphant, "This volume consists chiefly of glees, catches & which were sent in to E[dmund] T[homas] Warren Horne, the secretary to the Catch Club, as candidates for their annual prizes from 1763 to 1794...."	"Glees, catches, etc. by various composers, original autograph compositions" in the 1970 catalogue	N-3/14	6	o./28	742 74
136p. 20 x 28cm: obl.8vo.	On the reverse side of the front cover: Exlibris of W.H.Cummings and Index, written by unknown hand. Each work is signed on the title page by J.M. Farnworth.	"Scene di Paisillo, Cimarosa & etc" in the 1970 catalogue	N-2/4	11	o.1-5/36	75
156p. 32 x 20.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings The pages of the book are numbered from both the front and back side, with musical notation, and a table of contents is written on the endpaper of each side.	"Various songs and instrumental pieces by Purcell, Hawkins, Blow, Croft, Gibbons, etc." in the 1970 catalogue	N-3/27	12	o.0/10	76

南英音楽文庫収蔵カミングス文庫「手写資料」目録

	作曲家、著者 Composer, Author	表題、内容など Titles, Contents, etc.	資料の形態 Source type	年代 Dates
77		<p>Collection of English Church Services</p> <p>Contents: Tallis, Mr. (Thomas): Te Deum, Benedictus, The Commandments, Credo, Sanctus, Magnificat to Mr.Thos. Tallis, Nunc dimittis; Byrd, Mr. (William): Te Deum, Benedictus, Magnificat to Mr. Byrds Service, Nunc dimittis; Aldrich, (Dr. Henry): Te Deum in Gamat, Jubilate, Kyrie, Commandments, Credo, Magnificat; Dr. Aldrich in G, Nunc dimittis; Child, Dr. (William): Te Deum in F, Jubilate, Sanctus, The Commandments, Credo, Cantate Domino, Deus misereatur; Child, (William): Te Deum in E#, Jubilate, The Commandments, Credo; Child, (William): Dr. Childs Evening Service in E#, Nunc dimittis; Child, (William): Dr. Child Morning Service in Ebb, Te Deum, Jubilate, Sanctus, The Commandments, The Credo, Magnificat to Eb, Nunc dimittis; Blow, (John): Dr. Blow Morning Service in Are#, Jubilate, Deus misereatur; Goldwin, Mr. (John): [Te Deum] in F, Jubilate, Sanctus, The Commandments, Credo, Magnificat, Nunc dimittis; Child, (William): Dr. Childs Sharp Service in Dsolre, Te Deum Laudamus, Jubilate Deo, Miserere, Credo, Magnificat D#. Nunc dimittis; Blow, (John): Dr. Blows Te Deum, Jubilate, Cantate Domino, Deus Misereatur; Gibbons, (Orlando): "We praise thee o'Lord" (Te Deum), Benedictus, Credo, Magnificat, Nunc dimittis.; Purcell, (Henry): Te Deum Purcells in B, Benedictus.</p> <p>Written from the end.</p> <p>Green, (Maurice): Te Deum of Mr. Green perform'd before the King Octber 26th [1729] upon his return from Hanover to St. James (Palace); Anonymus: "O clap your hands" (Ps.47).</p>	Manuscript copy, part book	18th c.
78		<p>Collection of English keyboard music and transcriptions</p> <p>Contents contains various pieces by John Blow, Henry Purcell, George Frederick Handel, Jeremiah Clarke, William Croft, Christopher Gibbons, John Barret, William Raylton.</p>	Manuscript copy, partly written by W.Croft, score	18th c.
79		<p>Collection of English part songs</p> <p>Contents: Purcell, H[enry]: Song, "In some kind dream"; Purcell, H[enry]: Dialogue love and despair, "Hence fond deceiver"; Purcell, H[enry]: Anthem, "O all ye people clap your hands"; Blow, Dr. (John): Anthem, "And I heard a great voice"; Blow, Dr. (John): Anthem, "Jesus seeing the multitudes"; Aldrich, Dr. (Henry): "I waited patiently" [Ps.40]; Aldrich, Dr. (Henry): "Give the King thy judgements" [Ps.72]; Aldrich, Dr. (Henry): "O Lord, I have heard thy voice"; Blow, Dr.(John): "Paratum cor meum Deus"; Carissimi, (Giacomo): "Anima mea in aeterna dulcedine"; Anonymus: "Mortali che fate" (from the Musical Companion, 1687); Anonymus: "Tronchi si pensir"; Purcell, H[enry]: "Since God so tender a regard"; Purcell, H[enry]: "When on my sick bed" (Poetry by Thomas Flatman, A thout of death); Monferratto, (Padre Natale): "Salve Regina"; Sances, Gio(vanni Felice): "Plagae tuae Domine"; Carissimi, Giacomo: "Militia est vita hominis super terram"; Carissimi, Giacomo: "Surgamus eamus properemus"; Anonymus: "Sospiri che fate"; Carissimi, Giacomo: "Amanti, che dite?"; Anonymus: "Lontani del core".</p> <p>Following 2 cutouts of printed music pasted onto blank pages.</p> <p>A favourite air sung by Mrs. Mattocks, in Midas. "In these greaty old tatters", 127r.</p> <p>Song sung by Mrs. Vincent, in the Summer Tale. "Dear girl never trust thy Charms", 128v.</p>	Manuscript copy, score	18th c.
80		<p>Collection of Italian vocal music</p> <p>Contents: Pacini, Giovanni): Duetto "Squarcia mi il core, O Barbaro" from Opera "L'ultimo giorno di Pompei" 1825; Martini, Vincenzo: Canon perpetuo per tre voci, "Il mio Leon é morto"</p> <p>; Paisiello, (Giovanni): Duetto in the opera "I Zingari in fiera"1789, "Pandfetto grazio setto quel tuo viso"; Paisiello, (Giovanni): Duetto in the Opera"La Locanda"1791, "Tutto da voi dipende"; Nasolini, (Sebastiano): The favorite duett in the opera of "[La morto di] Mitridate"1796, "Il tuo destino ingrata"; Paer, f(erdinando): A favorite duett "Vederlo sol bramo" from Opera "Griselda"1803; Millico, (Giuseppe): Canzonetta "Ho sparso tante lacrime"; Millico, (Giuseppe): Canzonetta "Nice mia Nice io moro"; Rossini, (Gioachino): Duetto "All'idea di quel metallo" [from opera "Il Barbiere di Seviglia"]; Sacchini, (Antonio): Duett "Ah per pietade" [from opera "Arvire et Evélina"1788]; [Mozart, Wolfgang Amadeus): "Per questa bella mano" (K.612); Anonymus: "Qui solegno"; Schuster, (Joseph): La mia gloria gli dei".</p>	Manuscript copy, score	19th c.
81		<p>Collection of Italian vocal music in 4 books</p> <p>Contents:</p> <p>Book 1-1.Steffani, Abatte: Cantata a due voce "Che volete"</p> <p>Book 1-2.Steffani, Abatte: Duetto "Che sacra di quel pensiero"</p> <p>Book 2.Ariosti, Attilio: Cantata, voce solo con Hautobi, Zviolini, viola e basso, "Qui dove il fatao rio"</p> <p>Book 3.Anonymus: Aria con oboe "Memoria labile ha"</p> <p>Book 4.Anonymus: Cantata "Rondinella vaghe bella"</p>	Manuscript copy, comprising from 4 separate books, score	18th c.

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	新編目録掲載ページ Page in the 1970 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue	
126p. 42 x 27cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings "The table of services contained in this book", signature of "J.Mason" and 2 illegible names on the reverse side of the front cover. Signature of "W.Richardson" on the reverse side of the back cover.		N-7/51	3	p./1	448	77
110p. 32 x 21.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings On the endpaper: "William Raylton, His Book...March the 31, 1700" A piece of paper with Cummings' notes about Raylton.		N-3/35	4	r./1	1399	78
196p. 23 x 37cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings, with his comment "a very curious voume - see note by Joseph Warren - facing 11r. page of the music." List of works on the 11v. page. Alphabetical index of contents of unknown song book on the reverse side of the front cover.		N-4/39	3	o.1-5/4	1401?	79
123p. 25 x 31cm: obl.4to.	Exlibris of W.H.Cummings Index of contents on the front endpaper, written by unknown hand.		N-6/61	4	o.1-2/18		80
16p., 16p., 8p., 8p. 24 x 30cm: obl.8vo	Exlibris of W.H.Cummings on the reverse side of the front cover		N-6/21	4	p./10		81

南葵音楽文庫収蔵カミングス文庫「手写資料」目録

作曲家、著者 Composer, Author	表題、内容など Titles, Contents, etc.	資料の形態 Source type	年代 Dates
82	Collection of organ accompaniment for services and anthems Contents: Hutchinson, Mr. [John?]: Te Deum (Morning and Evening Service); O(ttey), W[illiam]?: Litany; Gibbons, Mr.Or[lando]: Service; Patrick, Mr. [Nathaniel]: Evening Service; Gyles, Dr. [Nathaniel]: Evening Service; Stringers, P.: Magnificat; Tallis, Mr. [Thomas]: Magnificat; Tallis, Mr. [Thomas]: Nunc dimittis; Tomkins, Mr.Tho[mas]: Nunc Dimittis; Rogers, Dr. [Benjamin]: Te Deum; Rogers, Dr. [Benjamin]: Magnificat; Bryne, Mr.Albert: Morning Service; Bryne, Mr.Albert: Evening Service; Ottey, [William]: Magnificat; O(ttey), W[illiam]: Nunc Dimittis; [Ottey, William]: "O praise God in his holiness"; [Ottey, William]: "Save me O God"; [Ottey, William]: "A make up my glory"; [Ottey, William]: "O Lord rebuke me not"; Ottey, W[illiam]: "Turn thee unto me O God" (Ps.25); [Ottey, William]: Commandments; [Ottey, William]: "How are the mighty falne [i.e. fallen]"; Hutchinson, [Mr.John?]: "O sing unto O Lord"; Hutchinson, Mr. [John?]: "Unto thee O Lord"; Hutchinson, Mr. [John?]: "Out of the deep" for a basses; Bird, Mr. [William]: "Christ is ryesing [i.e. rising]"; [Bird, William]: "If ye be rysien againe"; [Bird, William]: "Thou God that guid'st"; Tucker, [Edmund?]: "O give thanks unto the Lord"; Tomkins, Mr. Tho[mas]: "Thou art my King O God" for a base alone; [Tomkins, Thomas]: "Lord who shall dwell" (Ps.15); [Tomkins, Thomas]: "Teach me O Lord"; Gibbons, Dr. [Orlando]: "How long"; Montegne, Mr. Hen[ry?]: "Greate [i.e.Great] is the Lord"; Cooke, Cap. [Henry]: "Turn thou us o good Lord"; [Hinell, Thomas]: "Lord let mee know my end"; [Hinell, Thomas]: "Wherewithal shall a young man"; Hinell, Tho[mas]: "The King shall rejoice" (Ps.119); Stringer, Gr.: "Like as the hart" (Ps.42); Hinell, Tho[mas]: "O give thanks unto the Lord"; Stringer, G.: "O God my heart is ready" (Ps.108); Hinell, Tho[mas]: "Lord remember David and all his trouble"; Hutchinson, Mr. [John?]: Full anthem "Grant, we beseech Thee"; [Hutchinson, John?]: "O Lord let it thy"; [Ottey, William]: "Have mercy upon me O God" (Ps.51); [Ottey, William]: "My song" (Ps.100); [Ottey, William]: "Like as the heart" (Ps.42); Ottey, W[illiam]: "Give the king thy judgments" (Ps.72); Ottey, W[illiam]: "O Lord, God of hosts" (Ps.84); Ottey, W[illiam]: "Lord, how are they increased" (Ps.3); King, Mr. W [illiam]: "Turn thy face from my sins"; King, Mr. [William]: "Lord, how are they increased"; Blow, Mr. [John]: "Lord, how are they increased"; Bryne, Mr. [Albert]: "How long"; Child, Dr. [William]: "O Lord, grant the King a long life"; Anonymus: "Keeps we beseech thee a good Lord"; Anonymus: "Bow thine ear"; Anonymus: "O Lord turns thy...away"; Anonymus: "Save me O God" (Ps.54); Anonymus: "I call and cry"; Anonymus: "...not thou thy face"; Anonymus: "Prevent us"; Anonymus: "Call to remembrance".	Manuscript copy, written mainly by E. White, score for organ accompaniment, each staff with 6 lines. From 103r onwards, the music is transcribed upside down, with the left page turned to the next folio.	(1706)
83	Collection of sacred songs Contents (the composer's names are not mentiond): Te Deum; Jubilate; "O how Amiable", 1st. Anthem; "Is it true that God will dwell with men", 2nd. Anthem; Magnificat; Nunc dimittis; "My heart rejoiceth in the Lord", Anthem on Thanksgiving and peace; "Hearken into me ye holy children"; Morning prayer, "O come"; Evening prayer.	Manuscript copy, score Manuscript copy, lute tablature	18th c.
84	Lute book [Livre de luth]. Mid-17th-century manuscript, written in England. Contents: Exercises and instructions for lute; Intavolatura of songs and motets; Dance music, ex.allmand; Love song with English and Italian lyrics, accompanying lute tablature. Contains works by Denis Gautier (Old Gautier) and Cesare Morelli.		17th c.
<b>"Catalogue of the W.H.Cummings' Collection in the Nanki Music Library"(1925)に記載はあるが、現在所在が確認できない手写資料 Lost musical score materials and documents</b>			
1	"Händel, Georg Friedrich Gloria Patri (1685-1759)		
2	Lawes, William Pieces for the lyra-viol		Saec.xvii
3	Missale Romanum		Saec.XV.
4	Regole generali sopra il canto gregoriano, molto giovevoli ad ogni persona che voglia imparare con fondamento tale scienza."		Saec. xvi.

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録ページ Page in the 1970 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue
258p. (129 folios) 30 x 19.5cm: 4to	Exlibris of W.H.Cummings List of songs included on the inside of the front and back covers, but illegible. Index of contents on the front endpaper, written by unknown hand. On the front endpaper, signature of "Thomas Evens, Cathedral Church Chester" On the back endpaper, signature of "Thomas Evens his mastery book, 1704" and "William Hobran's master's book, Mr.Edmund Baker, 1754, Organist" "Mr. Edmund White Organist of the Cathedral of Chester, Anno Domini 1705" on the Fol.32v.	"Collection of services, anthems, magnificats etc. by various composers: J.Hutchinson, Byrd, Gibbons, Tallis, Ottey etc." in the 1970 catalogue	N-3/36	4	p/8	82
200p. 28 x 23cm: 4to.	Exlibris of W.H.Cummings On inside cover "Wm. Vasey, 1759, Ixworth Abbey"		N-3/29	4	p/7	83
62p. (23 blank pages) 36.2 x 25.7cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of East Sheen		N-4/42	9	j/1	84
folio					o.52/3	1
folio					j.11/2	2
folio		"MS. on vellum, with the Gregorian music, written in gothic letter" in 1925 catalogue.			p/4	3
8vo.					b.0/3	4

南英音楽文庫収蔵カミングス文庫「一般書」目録

著者 Author	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher	刊年 Year
1 Angelo, Domenico (1717?-1802)	The school of fencing with a general explanation of the principal attitudes and positions, peculiar to the art. By Mr. Angelo. [Edited by Henry Charles William Angelo]	London	1787
2 Belsham, Thomas (1750-1829)	The evil Nature, and pernicious Tendency, of intemperate and misguided Zeal. A sermon preached at a meeting of ministers at Rothwell in Northamptonshire, October 4, 1775	London: printed for J. Buckland	1775
3 Bibiena, Bernardo Divitio da	Calandra, comedia di messer Bernardo Divitio da Bibiena, nuovamente ristampata.	Venezia: Francsco Bindom & Mapheo Pasini compagni	1547
4 Butler, Charles (1571-1647)	The Feminine Monarchie: or The Historie of Bees. Shewing Their admirable Nature, and Properties, Their Generation, and Colonies, Their Government, Loyaltie, Art, Industrie, Enemies, Warres, Magnanimitie, &c. Together with the right ordering of them from time to time: And the sweet profit arising thereof.	1623 I. Haviland, London	1623
5 Codronchus, Baptista	De vitii vocis, Libri duo.	Andrea Wechelus, Claudium Matnium & Joannum Aubnum, Francfurt	1597
6 Collier, Jeremy (1650-1726)	A short view of the immorality, and profaneness of the English stage, together with the scense of antiquity upon this argument, by Jeremy Collier, M.A.	London: Printed for S.Keble	1698
7 Congreve, William (1670-1729)	The mourning muse of Alexis. A pastoral, lamenting the death of our late gracious Queen Mary of ever blessed memory. By Mr. Congreve. The second edition	London: Printed for Jacob Tonson	1695
8 Dryden, John (1631-1700)	Poetical miscellanies: the fifth part. Containing a collection of original of original poems, with several New-Translations. By the most Eminent Hands.	London: Printed for Jacob Tonson	1704
9 D'Urfe, Thomas (1653-1723)	Collin's walk through London and Westminster, a poem in burlesque. Written by T.D. Gent.	London: Printed for Rich. Parker... and Abel Parker	1690
10 Esausz, Frans den Heussen (1599-1679)	Den Christelijcken Jongelingh: Dat is Een stichtelijcke onderwysinghe/hoe de Jongelinghen ende alle jonge lieden haer in leven wandel hebben christelijck te dragen. Voor-gesteld over de woorden van den H. Propheet en Koningh David. Psalm 119: vs. 9. Na de nieuwe oversettinge des Bybels, oock in alle aengetogene plaetsen der H. Schrifture. Met een By-voeghsel/ bestaende in eenige Christelijche Gesangen/ ende Lof-Gedichten/ tot stichtelicke vermakinghe der Jeught. Door Frans Esausz. den Heussen.	Amsterdam: Marten Tansz; Brandt	1644
11 Evelyn, John (1620-1706)	Diary of John Evelyn, esq., F.R.S. To which are added a selection from his familiar letters and the private correspondence between King Charles I. and Sir Edward Nicholas and between Sir Edward Hyde (afterwards Earl of Clarendon) and Sir Richard Browne. Edited from the original mss. by Willia, Bray, F.S.A. A new edition in four volumes with a life of the author by Henry B. Wheatley, F.S.A. with numerous portraits. 4 volumes	London; Bickers and Son	1879
12 Gansefoort, Gerhardum (Gerhard) (1602-53)	Heylsaeme Houwelijcks Regulen, door alle Jongelingen. Om haer daer nae totten Houwelijcken staet Wettelijck ende heylighlijck te bereyden. Getoogen opt den Evangelio van de Cananëische Bruylust. Ioh. 2. v. I. Door Gerhardum Gansefoort, Bedienaer des Heyligen Evangeliums te Wes.	Groningen: Samuel Pieman	1647
13 [Grant, George]	An essay on the science of acting. By A Veteran Stager.	London: Cowie and Strange	1828
14 Hanmer, Meredith (1543-1604)	The ancient ecclesiastical histories of the forst six hundred yeares after Christ, written in the Greeke tongue by three learned historigraphers, Eusebius, Socrates, and Euagrius. Eusebius Pamphilus, Bishop of Casarea in Palestina wrote 10. bookes. Socrates Scholasticus of Constantinople wrote 7. bookes. Euagrius Scholasticus of Antioch wrote 6. bookes. Whereunto is annexed Dorotheus Bishop of Tyrus, of the lives and ends of the Prophets, Apostles, and 70. disciples. All which authors are faithfully translated out of the Greeke tongue by Meredith Hanmer Doctor of Divinitie. Last of all, herein is contained a briefe chronographie collected by the said translator, with a copious index of the principall matters throughout all the histories. The third edition, corrected and amended.	London: Printed by Richard Field	1607
15 Hoare, Prince (1755-1834)	Memoirs of Granville Sharp, ESQ. Composed from his own Manuscripts, and other authentic documents in the possession of his family and of the African Institution. By Prince Hoare. With observations on Mr. Sharp's biblical criticisms, by the Right Rev. the Lord Bishop of St. David's.	London: Printed for Henry Colburn and Co.	1820
16 Horn, Charles Edward (1786-1849)	[Journal in his handwriting and other MSS, relating to him.]		1826
17 La Primaudaye, Pierre de (1546-1619)	Der Vrouwen Schildt, ofte Mondstoppinghe Van alle Lasteraers, dewelcke sich durven vermeten te seggen en te schryven, dat de Vrouwen geen Menschen en syn. Als oock De Houweliicke Gheboden, dat is: Den onderlighen Plicht tusschen Man ende Vrouvv. Noyt voor desen in 't Nederduyts ghedruckt.	Leyden: Willem Christianiaens van der Boxe	1645
18 Law, William (1686-1761)	Of Justification by Faith and Works. A Dialogue between a methodist and a churchman.	London: Printed for J. Ricradson	1760
19 Lucas, Richard (1648-1715)"	The Influence of Conversation, with the Regulation thereof: A sermon preached at St. Clement's Dane, to a religious society	London: printed for W. Innys	1753
20 Maier, Michael (1568-1622)	Civitas corporis humani.	Lucae Jennis, Francfurt	1521

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記1 Notes 1	注記2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重目録掲載ページ Page in the 1970 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue	
viii, 105p., 47plates 24.0 x 14.0cm; 8vo	Exlibris of W.H.Cummings Signature of "William H.Cummings"		K-34	56	iv.8/3	0021	1
30p. 9.6 x 15.5cm; 18mo		Bound with K-8(1)-(4)(6)	K-8(5)	57	i./9		2
47[ie.92]p. 9.8 x 14.5cm; 16mo	Exlibris of W.H.Cummings		K-5	56	c.4/26	1039	3
[186]p. 14.7 x 18.7cm; 12mo	Exlibris of W.H.Cummings Cut off from unknown auction catalogue	Contains the music of "Bees' Madrigal"	K-16	56	iii.3/2	03732?	4
252p. 10.5 x 15.3cm; 18mo	Exlibris of W.H.Cummings Ownership stamp of "Vincentus"	Bound with K-7(2)	K-7(1)	56	c.5/7	0465	5
[14], 288p. 12.5 x 19.1cm; 16mo	Exlibris of W.H.Cummings 1 illegible signature with date		K-35	57		0479	6
10p.		Bound with K-29(1)-(2)(4)	K-29(3)	59	c.2/4	1631/1664	7
616p. 13.0 x 19.7cm; 12mo	Exlibris of W.H.Cummings 1 illegible signature Some hand written notes about contents.		K-38	58	c.2/18		8
[14], 207p. 11.0 x 17.0cm; 16mo			K-36	57			9
[16], 205p.		Bound with K-4(1)(2)(4)-(6) Contains music, p.114 etc.	K-4(3)	59	p./47		10
299, 491, 487, 497p. 17.0 x 23.7cm; 8vo	Exlibris of W.H.Cummings on the each volume		K-19 K-20 K-21 K-22	57	viii.2/4	0653	11
[11], 124p.		Bound with K-4(1)(3)-(6)	K-4(2)	59	i.(s. p-47)		12
xii, 201p. 11.3 x 18.2cm; 12mo	Exlibris of W.H.Cummings Stamp of "K. Nicholas, Second Hand Books, & Old Prints,...Birmingham"		K-14	57	iv.1/2		13
[10], 598, [18]p. 20.3 x 29.0cm; folio	Exlibris of W.H.Cummings		K-43	56	viii.1/3	0652	14
xxiv, 524p. 23.5 x 29.5cm; folio	Exlibris of W.H.Cummings		K-30	57	viii.2/2	1539	15
156p. (contains 41 blankpages) 19.5 x 31.8cm; folio	Exlibris of W.H.Cummings		K-44	57	viii.2/1	0740	16
70, [26]p. 9.1 x 14.1cm; mo	Exlibris of W.H.Cummings Unknown Exlibris 2 illegible signatures, dated in 1652, and 1659	Bound with K-4(2)-(6)	K-4(1)	59	i. (s. p-47)		17
61p. 9.6 x 15.5cm; 18mo	Exlibris of W.H.Cummings A list of the volumes on the inside cover, written by unknown hand	Bound with K-8(2)-(6)	K-8(1)	57	i./9		18
33p. 9.6 x 15.5cm; 18mo		Bound with K-8(1)(3)-(6)	K-8(2)	57	i./9		19
216p.		Bound with K-7(1)	K-7(2)	56	iii.3 (s. e-7)		20

南英音楽文庫収蔵カミングス文庫「一般書」目録

著者 Author	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher	刊年 Year
21 Marbeck, John (c.1510-c.1585)	The lyues of holy Sainctes, Prophetes, Patriarches, and others, contayned in holye Scripture, so farre forth as expresse mention of them is deliyuered unto us in Gods worde, with the interpretacion of their names: Collected and gathered into an Alphabetical order, to the great commoditie of the Christian Reader. By John Marbecke.	London: Imprinted ... by H. Denham & R. Watkins	1754
22 Marcello, Benedetto (1686-1739)	Sonetti, di Bnedetto Marcello Nobile Veneziano Trà gli Arcadi Oriante Sacreo. Pianger cercai non già del pianto onore. driante sacreo.	Venezia: appresso Gio. Gabriello Hertz con licenza de'Supeiori	1718
23 Middleton, Thomas (baptised 1580-1627)	A Tragi-Coomodie, called The Witch; Long since acted by His Majesties Servants at the Black-Friers [ie. Black-Friars]. Written by Tho. Middleton.	London: Printed by J. Nichols [Privtely printed by Isaac Reed]]	1778
24 Milner, John (1718-79)	The Honour and Happiness of the Poor. In III, semans; The substance of which was preached to the poor, at the distribution of the charity of Mr. William Tomkins, at Peckham-Surry. To which are added some prayers and hymns.	London: printed and sold by J. Noon	1750
25 Norton, Thomas (1532-84)	A warning against the dangerous practises of Papistes, and specially the partners of the late Rebellion.	Imprinted at Lomdon by John Daye	[1569?]
26 Ryles, Bruno (1596-1677)	Mercirius Rusticus: or, The Countries Complaint of the barbarous outrages committed by the Sectaries of this late flourishing Kingdom. Together with A brief Chronology of the Battels, Sieges, Conflicts, and other most remarkable of this unnatural War, to the 25th of March, 1646.	London: Printed for Richard Green, Book-seller in Cambridge R. Grien, London	1685
27 Sandys George (1578-1644) Lawes, Henry (1596-1662)	A paraphrase upon the divine poems. By George Sandys. A paraphrase upon Iob. A paraphrase upon the Psalmes of David. By G.S. Set to new tunes for private devotion: And a thorow base, for voice, or instrument, by Henry Lawes Gentleman of His Majesties Chappell Royall. A paraphrase upon Ecclesiastes. A paraphrase upon the Lamentations of Jeremiah. A paraphrase upon songs collected out of the Old and New Testaments.	London: Printed by John Legatt	1638
28 [Shakespeare, William] (1564-1616)	Macbeth, A Tragaedy. With all the alterations, amendments, additions and new songs. As it's now acted at the Dukes Theatre.	London: Printed for P. Chetwin, and are to be sold by most booksellers	1674
29 Shakespeare, William (1564-1616)	Shakespeares Lucrece: being a reproduction in facsimile of the first edition, 1594, from the copy in the Malone Collection in the Bodleian Library. With introduction and bibliography by Sidney Lee.	Oxford: Clarendon Press	1905
30 Shakespeare, William (1564-1616)	Shakespeares The passionate pilgrim: being a reproduction in facsimile of the first edition, 1599, from the copy in the Christie Miller Library at Britwell. With introduction and bibliography by Sidney Lee.	Oxford: Clarendon Press	1905
31 Shakespeare, William (1564-1616)	Shakespeares Pericles: being a reproduction in facsimile of the first edition, 1609, from the copy in the Malone Collection in the Bodleian Library. With Introduction and bibliography by Sidney Lee.	Oxford: Clarendon Press	1905
32 Shakespeare, William (1564-1616)	Shakespeares Sonnets: being a reproduction in facsimile of the first edition, 1609, from the copy in the Malone Collection in the Bodleian Library. With introduction and bibliography by Sidney Lee.	Oxford: Clarendon Press	1905
33 Shakespeare, William (1564-1616)	Shakespeares Venus and Adonis: being a reproduction in facsimile of the first edition, 1609, from the copy in the Malone Collection in the Bodleian Library. With introduction and bibliography.	Oxford: Clarendon Press	1905
34 Shakespeare, William (1564-1616)	Shakespeares Comedies, histories, & tragedies: Being a reproduction in facsimile of the first folio edition, 1623, from Chatsworth Copy in the possession of the Duke of Devonshire, K.G. with an introduction and census of copies by Sidney Lee.	Oxford: Clarendon Press	1902
35 Standfast, Richard (1608?-1684)	A little handful of cordial comforts: Scatterd throughout several answer to sixteen questions and objections following. Intended chiefly for the Good of those that walk mournfully befor God; And are worthy to be gathered up, and regarded, by all such as wish well to their own Peace.	Bristol: Reprint for Mr. Standfast Smith, Apothecary, Great Grandson of the Author.	1764
36 Stepney, George (1663-1707)	A poem dedicated to the blessed memory of Her late gracious Majesty Queen Mary. By Mr. Stepney.	London: Printed for Jacob Tonson	1695
37 Stevens, George Alexander (1710-80)	A lectures on heads, by Geo. Alex. Stevens, with addition by Mr.Pilon; as delivered by Mr. Charles Lee Lewes. To which is added an essay on satire.	London: printed for Vernor and Hood, poultry; J. Cuthell, Holborn; J.Walker, Paternoster Row; and Otridge and son, Strand, by T. Bensley	1802
38 Sulley, Philip (1860-1928)	The Hundred of Wirral. Map and Illustrations. [With an appendix on the Geology of Wirral, by O. W. Jeffs.]	Birkenhead: B. Haran and Co.	1889
39 Tate, Nahum (1652-1715)	Mausolaeum: A funeral poem on our late gracious sovereign Queen Mary, of blessed memory. By N. Tate, Servant to His Majesty.	London: Printed for B. Aylmer...and W.Rogers...and R. Baldwin	1695
40 Tutchin, John (1660 or 1664-1707)	An epistle to Benjamin Bridgewater, Occasion'd by the death of the late Queen Mary. By. Mr. Tutchin	London: Printed for Richard Baldwin	1694
41 Utino, Leonardus de (1400?-69)	Quadragesimale aure[um] editum p[er] egregiu[m] excellentissimum ac famosissimum artiu[m] & sacre theologie doctore[m] f[rat]rem Leonardu[m] de Utino.	[Venezia: Franciscus Renner]	1741
42 Vergilius, Polydore (Polydori Vergilii Urbinate) (1470-1555)	De rerum inventoribus, Libri viii. Et de Prodigijs, Libri III. Cum Indicibus Locupletissimis.	Amsterdam: Apud Danielem Elzevirius	1671

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記1 Notes 1	注記2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重目録編ページ Page in the 1970 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue	
[4, 328]p. 14.0 x 18.5cm; 12mo	Exlibris of W.H.Cummings		K-37	57	i/7	1047/1048?	21
100p. 9.8 x 14.3cm; 16mo	Exlibris of W.H.Cummings		K-9	57	c.2/27		22
111p. 13.0 x 20.3cm; 12mo	Exlibris of W.H.Cummings Cut off from unknown auction catalogue Handwritten commentary on the book, by unknown hand. Notes from the former owner who was given the book by Isaac Reed. The name of "James Boaden" is written on the front endpaper as the person who recieved the book as a gift.		K-17	57	c.4/17	1098	23
xxii, 82p. 9.6 x 15.5cm; 18mo		Bound with K-8(1)-(5)	K-8(6)	57	i/9		24
110p. 9.3 x 13.6cm; 24mo	Exlibris of W.H.Cummings		K-2	58	i/10	1197	25
[16], 216, [84]p. 11.5 x 17.9cm; 16mo	Exlibris of W.H.Cummings		K-15	58	viii.1/6	1482	26
[303]p. 19.4 x 28.0cm; folio	Exlibris of W.H.Cummings		K-41	58	p/7	1503	27
66p. 17 x 21.7cm; 8vo	Exlibris of W.H.Cummings Signature of "Charles Klamert"		K-23	58	c.4/9	1534	28
56, 94p. 21.7 x 25.7cm; 4to	Exlibris of W.H.Cummings	Number 206 of a limited edition 1000 One of a set of five volumes (K.24-28)	K-24	58	c.4/1-b	1535	29
57, [60]p. 21.7 x 26.0cm; 4to	Exlibris of W.H.Cummings	Number 206 of a limited edition 1000 One of a set of five volumes (K.24-28)	K-25	58	c.4/1-b	1535	30
48, [70]p. 21.5 x 26.0cm; 4to	Exlibris of W.H.Cummings	Number 206 of a limited edition 1000 One of a set of five volumes (K.24-28)	K-26	58	c.4/1-b	1535	31
71, [80]p. 21.3 x 25.9cm; 4to	Exlibris of W.H.Cummings	Number 206 of a limited edition 1000 One of a set of five volumes (K.24-28)	K-27	59	c.4/1-b	1535	32
75, [54]p. 21.6 x 26.0cm; 4to	Exlibris of W.H.Cummings Signature of "Sydney Lee"	Number 206 of a limited edition 1000 One of a set of five volumes (K.24-28)	K-28	59	c.4/1-b	1535	33
xxxv, 908p. 24.0 x 38.3cm; folio	Exlibris of W.H.Cummings Signature of "Sydney Lee"	Number 757 of a limited edition 1000	K-31	59	c.4/1-a	1533	34
94p. 9.6 x 15.5cm; 18mo		Bound with K-8(1)-(3)(5)(6)	K-8(4)	57	i/9		35
6p.		Bound with K-29(1)(3)-(4)	K-29(2)	59	c.2/4	1631/1664	36
xi, 124p. 10.5 x 16.0cm; 16mo	Exlibris of W.H.Cummings		K-11	59	v.0/2	1609	37
400, xxxii p. 18.0 x 22.0cm; 8vo	Exlibris of W.H.Cummings		K-18	59	ix/1	1616	38
19p.		Bound with K-29(1)-(3)	K-29(4)	59	c.2/4	1631	39
5p. 19.3 x 28.8cm; 4to	Exlibris of W.H.Cummings	Bound with K-29(2)-(4)	K-29(1)	59	c.2/4	1664	40
[403]p. 21.0 x 27.0cm; 4to	Exlibris of W.H.Cummings		K-42	59	i/4	1668	41
[43], 511, [6], 100, [92]p., 8.0 x 13.3cm; 16mo	Exlibris of W.H.Cummings "J.B.B. 1856" by unknown hand		K-1	59	viii.1/7-a	1299	42

南葵音楽文庫収蔵カミングス文庫「一般書」目録

著者 Author	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher	刊年 Year
43 Walker, Clement (1595-1651)	Relations and Observations, Historical and Politick, upon the Parliament begun Anno Dom. 1640. Divided into II. books: 1. The Mystery of the Two Junto's, Presbyterian and Independent. 2. The History of Independency, &c. Together with an appendix, touching the proceedings of the Independent faction in Scotland. [The dedicatory epistle signed: Theodorus Verax.]	[London: s.n.]	1648
44 Walker, Clement (1595-1651) Andrews, Eusebius (-1650)	The High Court of Justice; or Cromwells. New slaughter house in England, with the authority that constituted and ordained it. Arraigned, convicted and condemned. For usurpation, treason, tyranny, theft and murder. Being the III. prt of the History of Independency, written by the same author.	[London: s.n.]	1651
45 Waller, Edmund (1606-87)	The works of Edmund Waller, Esq; in the verse and prose.	London: Printed for I. and R. Tonson	1698
46 Weaver, John (1673-1760)	An essay towards a history of dancing, in which the whole art and its various excellencies are in some measure explained. Containing the several sorts of Dancing, antique and modern, serious, scncial, grotesque, & c. with the use of it as an exercise, qualification, diversion, & c.	London: Printed for Jacob Tonson	1712
47	The Bible (Old and new Testament) and Psalms of David, in shorthand, by William Addy.	London: Printed for the Author, and and sold by, Tho[mas] Fabian	1687
48	Biblia dat is de gantsche H.Schrift vervattende alle Canonijke Boeken des Ouden en Niewwen Testaments. Vyt de Oorspronkelijcke Talen in onze Nederlandtsche Tale getrouwelik overgeset.	Dordrecht [Dordrecht]	1777
49	Het Boek der Psalmen. nevens de Gezangen.	H. Brandt, D. Onder de Linden, P. Schouten, J. de Groot, en R. Arrenberg in Compagnie, Amsterdam	1782
50	The book of common prayer, and administration of the sacraments and other rites and ceremonies, of the Church of England with the Psalter or Psalms of David.	London: sold by Thomas Guy	1683
51	Een christelijek Troost-schrift / coztelijcken nae den sin der H. Schriftuere by een ghevoecht. Gedaen door Henricum Christiani Langermans, Bedienaer aen den Woozt des Heeren in Perwijnen in Gelderland.	Adriaen Helmichsz, tot, Goringhen	1620
52	Confessin de foy faite d'un commun accord par les Eglises sont disperfees en France, & s'abstiennent des idolatries Papales. Avec une preface contenant response & defense contre les calomnies on les charge.	Genève: par Jean Crespin	1563
53	La forme de Prieres Ecclesia, Stigues. Avec la maniere d'administrer les Sacramens, & celebrer le Mariage, & la visitation des Malades.	[n.p.]	[n.d.]
54	Missale Romanum, Ex Decreto Sacrosancti Concilii Tridentini Restitutum, PII V. Pont. Max. Jussu Editum, et Clementis VIII. auctoritate recognitum: Cum Missis novis de Sanctis, à Paulo V. Gregorio XV. Urbano VIII. & S. D. Innocentio X. ordinatis. Missa propriae de Sanctis omnes ad longum positae sunt pro faciliiori Celebrantium commoditate.	Antwerp, Sebastiani Haupt, Bibliopolae	1651
55	Le nouveau mercure galant. Contenant tout ce qui s'est passé de curieux au Mois de Mars de l'Anée 1678. Le nouveau mercure galant. Contenant tout ce qui s'est passé de curieux au Mois de Avril de l'Anée 1678."	Svivant la Copie inprïée a Paris. Au Palais, l'An 1678.	1678
56	Le Noveau Testament.	[n.p.]	[n.d.]
57	Opusculum Multarum bonarum Rerum Refertum. Ut sunt. Divi Augustini Meditationes: & eiusdem Soliloquia. & Manuale. Bernardi Abbatis Epistola non vulgaris & unicus eius sermo de passione domini. Petri Damiani Sermo. Anselmi Meditationes sunt. Carmina. N. fratris ordinis predicatorum in quibus suprascriprorum opusculorum per optime comendantur. Pii Pont. Max. & carmina. Maphei vegii carmen in laudem sancte Monice. Item qui totum concludit Agmen. Vincentii de Spirituali vita. Et nuper cum summa diligentia recognita.	Venezia: Impressum Venetus p[er] Bernardinum de Lisona Vercellenis	1520
58	The psalms, hymns, prayers, graces, and dulce domum, used by the scholars of Winchester College. Revised and Corrected.	Winchester: printed for T. Burdon.	1760
59	Les Pseaumes mis en rime François, par Clement Marot, & Theodore de Beze. Avec un calendrier historial.	[Genève]: par Jean Crespin	1570
60	Schriftuedijcke ende christelijcke huyshoudinghe. Hoe een man zijn huys-vrouwe lief hebben / ende zijn huys-ghesin regieren ende stueren sal. Hoe een huysvrouwe haren man eeren, gehoorsaem, ende ondetdanigh syn moet, ende hoe sy haer onder haer Huys-gesin houdensal.	Andries Cloeting, tot Delf	1641
61	Troost-Antwoort op de Mondt-Ende Schrift-Clachte van den Eersamen Deuchdelijcken Weduwaer Pieter Claesz. uptonematen bedzoest zijnde oder den rouwigen Doot van zijne lieve Pupszou/ de Eerbare Deugent-rijcke Adriana Quintings, ghestozven in't Yaer M.DCV. den tvj.Septembris/ binnen Alckmaer.	Jacob de Meester, tot Alckmaer	[n.d.]

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記1 Notes 1	注記2 Notes 2	請求記号 Call number	南楽館目録ページ Page in the 1970 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue	
18, 174, 18, 256p. 15.0 x 19.0cm; 8vo	Exlibris of W.H.Cummings Signature of "Oliver Cromwell" with red ink on the first page, but doubtful.	Bound with K-40(2)	K-40(1)	59	viii.1/5	1695	43
71p.	Exlibris of W.H.Cummings	Bound with K-40(1)	K-40(2)	59			44
XVI, 272p. 10.4 x 16.0cm: 16mo	Exlibris of W.H.Cummings		K-12	60	c.2/24	0479?	45
172p. 12.0 x 17.7cm; 12mo	Exlibris of W.H.Cummings Cut off from unknown auction catalogue		K-39	60	a.0/7	1703	46
ii, 396p. 8.3 x 11.7cm; 24mo	Exlibris of W.H.Cummings Cut off from unknown auction catalogue		K-33	56	i./11	1554	47
903p. 8.8 x 15.0cm: 18mo	Exlibris of W.H.Cummings	Bound with K-6(2)	K-6(1)	56	i. (s. p-44)		48
360, 28, 59p.		Bound with K-6(1) Contains music	K-6(2)	56	p./44		49
25.0 x 37.5cm; folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Carter of Deal, Kent Exlibris of John Carter"		K-45	56	i./1	1306?	50
71p.		Bound with K-4(1)-(5)	K-4(6)	59	i.(s. p-47)		51
20p.		Bound with K-32(1)-(3)	K-32(4)	56	p./35		52
[112]p.		Bound with K-32(1)(2)(4)	K-32(3)	56	p./35		53
770p. 13.0 x 33.7cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings 1 illegible signature		K-13	57	p./4-a	1350	54
[xi], 200, [3], [ix], 212, [4]p. 8.6 x 13.7cm: 24mo	Exlibris of W.H.Cummings	2 vols in 1	K-3	58	d.1/3	1299	55
652, [4]p. 8.3 x 11.7cm; 16mo	Exlibris of W.H.Cummings, on which a note about the contents were written by him. Comments on the book with unknown hand on the front endpaper.	Bound with K-32(2)-(4)	K-32(1)	56	p./35		56
143 [ie.288]p. 10.5 x 15.5cm: 16mo	Exlibris of W.H.Cummings		K-10	58	i./8	1205	57
16p. 9.6 x 15.5cm: 18mo		Bound with K-8(1)(2)(4)-(6)	K-8(3)	57	i./9		58
331p.		Bound with K-32(1)(3)(4) Contains music.	K-32(2)	56	p./35	1337	59
[47], [47]p.		Bound with K-4(1)-(3)(5)-(6)	K-4(4)	59	i. (s. p-47)		60
79p.		Bound with K-4(1)-(4)(6)	K-4(5)	59	i. (s. p-47)		61

南葵音楽文庫収蔵カミングス文庫「一般書」目録

著者 Author	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication : Place, Publisher	刊年 Year
"Catalogue of the W.H.Cummings' Collection in the Nanki Music Library"(1925)に記載はあるが、現在所在が確認できない「一般書」資料			
Lost books which have no direct connection with music			
1	Baretti, Joseph A guide through the Royal Academy	London: Cadell	
2	David, P.Joanne Verdicus christianus [with 100 plantes by Gall.]	Antwerp: Ex Officina Plantiniana	1601
3	Grandfoort, Gerhardum Heylsaeme Houwelycks Regulen, door alla Jongelingen.	Groningen: Samuel Pieman	1647
4	Marbeck, John A concordace of Bible [the first concordace to the English Bible]	London	1550
5	A concordace of Bible [the first ed. Of the first English concordace]	London	1550
6	A book of note and common places with their expositions. Collected out of the workes of divers singular writers, etc.]	London: Thomas East	1581
7	Marylebone, Press (Ed) Specimens of Henderson, rait and spalding's printing type.	London: The Marylebone Press	1886
8	Noel, Nath The circle; or conversation on love and gallantry, originally in French, now Englished.	London	1675
9	Ponte, Jacobi W. Nova, et amaenior de admirando fontium genio.	(London): Alphonus	1659
10	Vitruvius, M. De architectura, cum commentarus D. Barbari, Libri x.	Venezia: Francisus & Joan Crugher Germanus	1667
11	A letter to the King, on the subject of a new proposed institution in the Medical Department.	London: Becket	1781
12	Der vrouwen Schildt, ofte Mondstoppinghe van alle Lasteraers.	Leyden: Willem Chritianiaens	1645
13	The ear -wig, or an old woman's remarks on the present exhibition of pictures of the Royal Academy.	London: Kearsly	1781

ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重目録掲載ページ Page in the 1970 Catalogue	旧資料番号 Call number in the 1925 Catalogue	競売目録番号 Lot. no. in the 1917 Auction catalogue
folio					(s. e-1)	1
4to.					i./5	2
mo.					i.(s.p-47)	3
4to.					i./2	4
4to.					i./3	5
8vo.					i./6	6
4to.					o.1/1	7
16mo.					v.0/3	8
folio					iii.1/1	9
folio					iv.5/1	10
folio					s. e-1	11
mo.					i.(s.p-47)	12
folio					v.1(s.e-1)	13

2024(令和6)年

9月14日

南葵音楽文庫アカデミー 2024年度【秋】

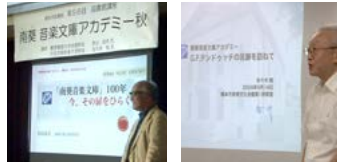
会場：橋本市教育文化会館視聴覚室

◎「南葵音楽文庫」100年 今、その扉を開く

講師：美山良夫

◎G.F. テンドウッチの足跡を訪ねて

講師：佐々木勉



9月15日

会場：県立図書館 講義・研修室

南葵音楽図書館の軌跡① 同時代音楽へのまなざし

◎フランスとロシア 南葵音楽図書館の楽譜蔵書から

講師：近藤秀樹、林淑姫



南葵徳川音楽塾 2024年度【秋】

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎徳川頼貞抄訳『グリークとその音楽を読む』

講師：篠田大基

◎田中正平と南葵音楽文庫

講師：泉 健

9月16日

11月2日～12月26日 「第九」初演100年 関係資料特別公開

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

読売日本交響楽団が所有し、和歌山県に寄託されている貴重な西洋音楽資料コレクション「南葵音楽文庫（約2万冊）から、1924年未だ初めて日本人演奏によってベートーベンの交響曲第9番（「第九」）が全曲演奏された際の使用楽譜が見つかった。近代日本における西洋音楽受容の歴史をたどるうえで貴重な発見だ。（文化庁 松本良）

南葵音楽文庫は、西洋音楽の紹介に尽力した紀州徳川家の第10代当主、徳川頼貞（1892-1954年）が私財を投じて主としてベートーベンの交響曲第9番の楽譜を収集したもので、ベートーベンの原筆譜など貴重な資料が含まれる。戦中・戦後に所有者を転々としたが、1977年以降は読売が所有していた。2017年、紀州徳川家ゆかりの和歌山県に寄託され、現在は和歌山県立図書館（和歌山市）で保管されている。今回見つかったのは、「第九」のオーケストラ・パートと合唱のバス・パートの楽譜計約1500冊（和歌山市）で保管されている。

●1924年に東京音楽学校（現・東京芸術大）で行われた日本人による「第九」初演の様子—美山良夫さん提供  
●初演で使われたバイオリン・パートの楽譜。書き込みや修正の跡がある（和歌山県立図書館保管）

部。ほかの資料と照らし合わせて調べた結果、このうち約70部が、1924年11月26日（日）12月6日に野の東京音楽学校（現・東京芸術大）の楽室で開かれた3回の演奏会で実際に使用されたものとみられる。

この時の演奏会は、東京音楽学校で教えたドイツのグスタフ・クローネが指揮し、教員や同校の学生・卒業生らが演奏・合唱を担当した。コンサートマスターは、戦前の日本を代表するバイオリニストでドイツ留学経験を持つ宮藤幸（幸田露伴の妹）だった。

この演奏会は当時、楽譜ベートーベンの一至高の名作が日本人によって初めて披露された快挙とまで大々的評判となり、戦後に始まった年末の「第九」演奏習慣の

きっかけになったともいわれる。楽譜の中には、頼貞が米国ニューヨークの音楽出版社から取り寄せたものほか、それを基に国内で写譜されたものもある。使用した奏者の名前やリハーサル時の書き込みのほか、日本で写譜された楽譜の間違いを修正した跡などもあった。関係者を入念な準備を経て初演に臨んだとみられる。

日本における「第九」の全曲初演は19年6月、第1次世界大戦で捕虜となつたドイツ人によって徳島県の板東俘虜収容所で行われた。かねて「第九」日本初演をなさしていた頼貞は、同年8月に収容所を訪ねて「第九」第1楽章の演奏を聴き、日本人による初演への決意をあらたにしたとされる。

▲読売新聞（2025.2.5朝刊）

12月28日

南葵音楽文庫アカデミー Newsletter『南葵文庫』第11号発行



2025 (令和7) 年

2月22日

**南葵音楽文庫アカデミー 2024年度 [春]**

会場：和歌山県立情報交流センター Big・U 研修室1

◎「南葵音楽文庫」100年 今、その扉を開く

講師：美山良夫

◎1921年5月 巴里の頼貞

講師：近藤秀樹



2月23日

会場：県立図書館 講義・研修室

南葵音楽図書館の軌跡②

◎カミングス文庫 歴史と現在

講師：佐々木勉、林淑姫、美山良夫



**南葵徳川音楽塾 2024年度 [春]**

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎ジル=マルシェックス × 南葵音楽文庫～初来日100周年の年に

講師：白石朝子 進行：近藤秀樹



2月24日

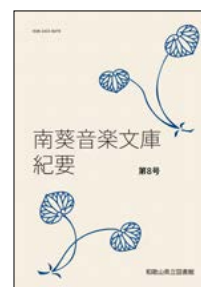
◎フランス音楽への扉～頼貞の絵葉書から

講師：近藤秀樹

3月31日

**南葵音楽文庫アカデミー Newsletter『南葵文華』第12号発行**

**『南葵音楽文庫紀要』第7号発行**



## 南葵音楽文庫 紀要 第9号

---

令和8年3月31日発行

発行 和歌山県立図書館  
〒641-0051 和歌山県和歌山市西高松一丁目7番38号  
電話 073-436-9500  
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/>

編集協力 有限会社ティアンドティ・デザインラボ  
〒531-0071 大阪市北区中津七丁目3番2号1階  
<https://www.ttdesign.co.jp/>